

東筑會報

TOCHIKU
KAIHO
2023.10.1
(令和5年)

No. 44



2023年度東筑会総会・同窓生交流会の運営を担当した当番期92期

更なる東筑魂

東筑会会長

深田 高一 (62期)



今年度もご壮健な同窓生の皆様とお会いすることができ、心から嬉しく思います。

124年の歴史を刻む母校の生い立ちを顧みますと、明治31年6月10日当時の嘉穂郡飯塚町飯塚高等小学校を仮校舎としてスタートし、明治35年3月27日第一回卒業式を終え、折尾の新校舎に移転しました。開校当初より東筑が県立初等高等学校第一号として開校されました。

その記念すべき令和5年6月10日に本年度当番期92期生の皆様のお世話の下で総会ならびに懇親会に全国津々浦々より約500名のご出席を賜り、盛大に挙行することができ私も執行部一同心から感謝し、誠にありがとうございました。

この数年、新型コロナ禍の影響から開催形態を模索しなければならぬ年が続いておりましたが、今年度は、ようやく例年通りの総会・懇親会を開催することができました。

東筑同窓生は、4万4千人を超えるに至りました。同窓会、地域

東筑会、職場東筑会等々では「東筑の絆」を深められていることと存じます。今まで以上に、コロナ禍で衰退していた先輩・後輩という経系、同期という緯系で織り込まれた強い絆を持つ東筑会を願ってやみません。

さて、母校東筑高校は、大規模改造教育環境整備事業のリニューアル工事中ではありますが、進学・部活動の両面において、その成果をあげておられる姿に接し、同窓生、そして校長先生をはじめ教職員の皆様に感謝いたしますとともに慶びに堪えません。

本年度3月末まで「文武両道」「質実剛健」の校是推進のためにご協力いただきました杉本真由美校長、生田千尋参事兼事務局長が退職され、加えて末吉薫教頭までも転任されました。母校にとりましては、大変な痛手ですが、幸い後任に小川昇二郎校長(81期)、田中憲明参事兼事務局長、藤本喜久代教頭が4月1日付で着任されました。

4月7日に第124期入学式が挙行され、野球部およびラグビー部に素晴らしい選手が入部したとお聞きしております。2、3年後に、優勝への道が開けるのを楽しみにしております。

母校の更なる飛躍と東筑会の皆様の益々のご健勝を祈念申し上げます。

2024年度 東筑会総会：6月8日(土)

総会/15:00 ホテルクラウンパレス北九州

懇親会/16:00 北九州市八幡西区東曲里町3-1 TEL(093)631-1111

北九州に文武両道の東筑あり



学校長 小川 昇二郎 (81期)

東筑会会員の皆様におかれましては、日頃から本校教育活動に対する御理解をいただき、多大なる御支援・御協力を賜っておりますことに対して、深く感謝申し上げます。また、昨年度までの「大規模改造教育環境整備事業」に対する募金活動におきましても多大なる御支援をいただきまして、本当にありがとうございます。生徒の学習環境の充実のため、大切に活用させていただきます。

私は、この春退職された杉本真由美校長(79期)の後を受け継ぎ、第36代校長として就任させていただきました81期の小川昇二郎です。歴史と伝統のある、そして母校である東筑高校で勤務できますことは、大変嬉しく誇りに思うと同時に、その責任の重さを痛感しているところです。微力ながら先輩諸氏の想いを引き継ぎ、東筑高校の更なる充実・発展のため、精一杯尽力いたしますので何卒よろしくお願いいたします。

現在の東筑生は、高い志を胸に、学習活動はもとより、部活動にも情熱を注ぎ、「社会に貢献する次世代のリーダー」を目指して、まさに文武両道を果たそうとしております。進学関係では、難関の京都大学・九州大学・早稲田大学・慶応大学をはじめとする国公立大学へ多数の生徒が合格し進学しています。一方、部活動では、全国大会に、ボート部・弓道部・美術部・生物部・ESS部・総合部(かるた)等が出場し、九州大会、県大会にも多数の部が出場しています。

伝統的な「東筑魂・一本松気質」を受け継ぎつつ、「北九州に文武両道の東筑あり」を全国に知らしめる気概で、さらに高いレベルでの「文武両道・質実剛健」を目指して、職員・生徒が丸となって頑張る決意を新たにしております。今後とも御理解・御支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、東筑会のますますの御発展を祈念いたしますとともに、会員の皆様の御健勝と御活躍を心よりお祈り申し上げます、挨拶とさせていただきます。

令和5年度

東筑会総会・同窓生交流会報告

事務局長 奥 竹 祐 介 (92期)

6月10日(土) ホテルクラウンパレス北九州(北九州市八幡西区)にて東筑会総会・同窓生交流会が行われました。

15時からダイヤモンドホールにおいて総会が行われ、司会の開会のことばに続き、深田東筑会会長(62期)からは、今年度はコロナ禍も落ち着き、ようやくこのような会を開催できることを喜ばしく思う事と、当番期とその他関係者への労いの言葉と共にご挨拶をいただきました。続いて小川学校長からは、今年度から新しく赴任してきた事と学校の近況報告を交えご挨拶をいただきました。その後、深田会長を議長として議事が進められ、令和4年度の事業報告、収支決算並びに監査報告、令和5年度の事業計画(案)、収支予算(案)の審議が行われ、いずれも承認されました。

総会終了後16時から同窓生交流会が同会場で開催されました。会場が昨年までのアクティブリゾーツ福岡八幡(令和4年9月閉館)から変更となり、収容人数が縮小された中で開催となりました。また新型コロナウイルス感染症防止対策も5類に移行し、4年ぶりの飲食を伴う交流会を実施する事ができました。今年度は92期が当番期となり、コロナ禍では叶わなかった対面での交流に重きを置き「会おう。出会おう。東筑

会2023」をテーマに開催しました。おかげさまで当日は、交流会最大実施可能人数の500名の同窓生の皆様にお集まりいただきました。

92期会長の開会の言葉に始まり、深田会長と小川学校長からご挨拶をいただき、来賓、恩師のご紹介の後、代表して石橋先生からご挨拶をいただきました。続いて地域東筑会の方のご紹介の後、ひのくに東筑会の宮川会長に乾杯の音頭をとっていただきました。歓談時間には会場全体に会話や笑い声が飛び交い、4年ぶりの飲食を伴う交流会での再会や新たな出会いを楽しんでいる様子でした。

会は第39回東筑ゴルフ大会の成績発表、92期が企画した、スライドや卒業後活躍する先輩のインタビュ動画の投影、ゴズベルデュオの生演奏が行われ、終盤の恒例の儀式へと進んでいきました。校歌斉唱では92期応援団長の指揮の下、皆様がマスクを外し立ち上がって歌う姿は東筑愛に溢れ感動的でした。

この度は同窓生の皆様の温かいご支援やご協力、ご声援のおかげで、令和5年度の会を滞りなく進めることができました。本当にありがとうございます。

来年も同窓生の皆様と再会、そして新たに出会い、笑い語り合えることを楽しみにしています。

令和5年度 東筑会総会報告

令和5年度事業計画

会則第2条（本会の目的）達成のため、令和5年度は下記の事業を行う。

- ①母校発展のため、教職員・生徒・父母との密接な連携、国内研修の支援、卒業生による講演会の講師協力、図書館の充実
- ②各地区東筑会との連携強化
- ③組織網の強化（組織委員会）
- ④年会費の納入促進（財務委員会）
- ⑤東筑会報（第44号）の発行（会報委員会）
- ⑥東筑会館史料展示室の整備
- ⑦大規模改造教育環境整備事業の支援

令和5年度 一般会計予算書

〔収入〕 自 令和5年5月1日 至 令和6年4月30日 （単位：円）

項 目	予 算	備 考
繰 越 金	3,682,730	
入 会 金	3,940,800	4,800×821人(122・123・124期)
会 費	5,038,000	2,000円×2,519人
基 本 金 より	0	
雑 収 入	30,000	預金利息他
計	12,691,530	

〔支出〕

項 目	予 算	備 考
総 会 費	1,000,000	当番期(93期)へ
会 議 費	180,000	議案書、各種会議案内状等
記 念 品 費	200,000	卒業証書入れ(アルバム式)
会 報 費	3,700,000	会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料
慶 弔 費	450,000	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅 費 交 通 費	270,000	各地区東筑会総会出席
会 館 管 理 費	90,000	休祝日、時間外手当
事 務 局 費	800,000	電話・電気料、通信費、コピー機リース料、事務室使用料、HPサーバー料、事務所備品等
振 替 手 数 料	470,000	会費振込手数料(ゆうちょ、サラト)
賃 金	1,650,000	事務局員
教 育 振 興 費	2,100,000	母校教育振興・定期野球大会・生徒派遣研修補助金・図書館の充実
周年事業費積立金	300,000	記念式典費用
基 本 金	0	基本金会計へ
予 備 費	1,481,530	
計	12,691,530	

令和4年度 一般会計決算書

〔収入〕 自 令和4年5月1日 至 令和5年4月30日 （単位：円）

項 目	決 算	備 考
繰 越 金	3,339,503	
入 会 金	3,883,200	4,800×828人、転学等▲91,200
会 費	5,048,000	会費収入5,048千円、2,519人
そ の 他	0	
基 本 金 より	0	
雑 収 入	200,022	母の会200千円、預金利息22円
計	12,470,725	

〔支出〕

項 目	決 算	備 考
総 会 費	1,000,000	当番期(92期)へ
会 議 費	131,377	議案書、各種会議案内状等
記 念 品 費	204,512	卒業証書入れ(アルバム式)
会 報 費	3,707,189	会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料
慶 弔 費	120,000	学校行事祝儀他
旅 費 交 通 費	98,520	地域東筑会旅費
会 館 管 理 費	43,710	休祝日、時間外手当
事 務 局 費	899,706	電話・電気料、通信費、コピー機リース料、事務室使用料、HPサーバー料、事務所備品※パソコン入替130千円
振 替 手 数 料	419,804	会費振込手数料
賃 金	1,650,000	事務局
教 育 振 興 費	213,177	図書館の充実、東筑・小倉定期戦※母校教育振興、生徒派遣補助金の支出なし
周年事業費積立金	300,000	
そ の 他	0	
基 本 金	0	
予 備 費	0	
計	8,787,995	

令和4年度 基本金会計決算書

〔収入〕 自 令和4年5月1日 至 令和5年4月30日 （単位：円）

項 目	金 額	備 考
繰 越 金	16,504,446	
繰 入 金	0	一般会計へ
雑 収 入	-57	273(預金利息)-330(残高証明証)
計	16,504,389	次年度へ繰越

令和4年度 東筑会会計監査報告

東筑会会長 深 田 高 一 殿

このことについて、下記の通り報告します。

記

令和4年度「東筑会一般会計」「東筑会基本金会計」について、出納簿・証拠書類等を精査、照合した結果、適正に処理されていることを認めます。

令和5年5月10日

会計監査 簡 井 信 秋 ㊞

会計監査 末 次 啓 子 ㊞

当番期を終えて

92期会長 日 高 慶太郎

6月10日に開催されました2023年度東筑会総会・懇親会におかれましては、約550名の同窓生の皆様のご来場を賜り、盛会のうちに終えることができました。そして伝統の櫓を、93期の後輩へ、無事引き継ぐこともできました。ひとえに皆様のご理解とご協力あつてのことと感謝申し上げます。

今年度のテーマは、「会おう、出会う 東筑会2023」。我々92期がこのテーマを作った想いは、東筑会が「出会う」場所であること、先輩方も、そして後輩たちにも、もつと顔を出したいと思える場所にしたという想いでこのテーマのもとに準備を進めていきました。例年の当番期活動から新たに、SNSを積極的に活用した広報活動や、記念品・懇親会チケットのオンライン販売実施などの新たな取り組みも行いました。記念品についても、木乃丸院窯松山先輩(64期卒業生)の陶器カップなど東筑卒業生の方に製作に関わっていただき、東筑会会員相互の親睦を深めるこ

とができました。

今年度は会場がホテルクラウンパレス北九州に変更になり、さらに当番期活動当初はコロナの第7波・第8波の流行など様々な問題がありました。総会・懇親会当日は久しぶりの飲食を伴う開催とあつて、先輩・後輩の皆様が楽しく話をしながら、お酒を酌み交わすことができました。これもひとえに役員、各期代表幹事の皆様をはじめ、多くの方々から心温まるご支援、ご指導を賜り、我々92期を最後まで励ましていただいたおかげと本当に感謝しております。

また今後卒業生の人数も減っていく中、今後の当番期の運営も色々と難しい問題に直面していくかと思えます。チケットオンライン販売や、懇親会でも当番期も飲食ができるようにホテル側とも交渉したりと、今年度当番期の運営を通じて「持続可能な当番期のスタイル」にもチャレンジ致しました。93期の後輩たちにも新しい当番期のスタイルを確立し、持続可能な当番期のスタイルに挑戦して欲しいです。

末筆ながら、今後の東筑会の益々のご発展と、そして来年度も多くの同窓生の皆様と出会えることをお祈り申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

当番期を迎えて

93期会長 秋 月 裕 子

本年6月10日に開催されました2023年度東筑会総会・懇親会で、私たち93期は、92期の先輩方から伝統の「当番期の櫓」を受け取りました。まだまだ遠い将来のような気がしていましたが、気づくこの時を迎え、改めて身の引き締まる思いです。

92期の先輩方におかれましては、一年間の当番期の活動、大変お疲れ様でした。ここ数年の当番期の先輩方と同様、コロナ禍におけるコロナ対策のフェーズが刻々と変化する中での準備に加え、今年から会場が昨年までとは規模も異なるクラウンパレス北九州に変わるなど、これまで通りとはいかない準備の様子に、傍らで見ていた我々も当番期の大変さを痛感していました。その一方で、同期の皆様が一体となつて準備に関わり、懇親会後の片付けまで楽しみながら活動されている姿に、高校3年生時の体育祭を彷彿するような同期の絆の力強さが感じられ、

高校卒業から30年経った年で同窓会の当番期を迎える意義を感じました。

母校の学年定員数の減少に伴い、同窓生の数も減少し、今後、当番期を担う人手の確保も難しくなっていくかもしれません。だからこそ我々も、先輩方と同様にまずは当番期を楽しみ、そしてこれから当番期を担う後輩達に「大変さ」だけではなく「当番期でしか経験できない楽しさ」を伝えられるよう、一年間を通して活動していきたいと思えます。

我々、93期は、92期の先輩方がコロナ禍を経た新たなフェーズで作られたいスタイルを参考にしながら、93期らしいスタイルを模索し、同期が一丸となつて総会・懇親会の準備を行なつてまいります。

来年6月も、今年と同様に、多くの同窓生の皆様が旧友や先輩・後輩と顔を合わせ、おしゃべりもお酒も弾むような楽しい時間を過ごしていただける場になるよう、これから一年かけてしっかりと準備に取り組んでまいります。至らぬ点も多々あるかと思いますが、多くの同窓生の皆様のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

◆ 第39回 東筑会ゴルフ大会成績 ◆

令和5年5月6日福岡国際カントリークラブ(宗像市)にて、第39回東筑会ゴルフ大会が開催されました。207名の申込みが、大雨の予報が的中し参加は122名。強烈な雨でしたが、それでも70台でのラウンドの方が3名もあり、驚かされました。ラウンド無しの来場者もあり、再会での歓談の様子が印象的でした。

今回は若い人の参加を、と土曜日開催を試みましたが不調でした。会の継続には、彼らの参加が欠かせません。参加しやすい方策を考えねば、と思っています。

今年度の団体優勝は58期の皆様でした。おめでとうございます。準優勝は69期、3位は85期です。個人戦は以下のとおりです(敬称略)。

個人戦

● グランドシニアの部

優勝	菅 十一郎	(58期)
準優勝	岡住 奏	(58期)
3位	矢野 清孝	(49期)

● シニアの部

優勝	石神 務	(69期)
準優勝	佐竹 真人	(74期)
3位	八山 哲夫	(65期)

● 一般の部

優勝	増本 俊記	(85期)
準優勝	仰木 秀維	(94期)
3位	小田 明良	(95期)

● レディースの部

優勝	野原 淑枝	(58期)
準優勝	白水 弥生子	(80期)
3位	坂井 素子	(82期)

ゴルフ大会、同窓生交流会を通して、どんな状況下でも前を向き、やるべきことをやり抜く東筑の素晴らしさを感じることができました。至らない点があったと思いますが、皆様のご協力が無事終えたことに感謝いたします。来年の大会が好天であることを心より願っています。

(92期ゴルフ委員長 那木健太郎)



団体優勝した58期の皆さま

新しい時代の同窓会のあり方を!!

組織委員長 日 高 教 夫 (64期)

東筑会の皆さん、お元気でしょうか? 今年は4年ぶりに本格的な同窓会を92期の当番期のご苦労のもと開催することが出来、久しぶりに校歌を斉唱することが出来ました。92期の皆さん、本当にご苦労様でした。

東筑会は、全国に北海道から熊本まで16ヶ所に地域同窓会がある全国的な組織の同窓会です。これからいつ何時、どのような不測な出来事が起こるとも限りません。いつでも対応がきちんと出来るように、会の規則の変更や今回の各地の対応を記録に残し、いつまた、このような事が起きても対応出来るようにしなければなりません。

近年各地の同窓会で社団法人にしているところがあります。法人格を取得し、社会的な責任を持つことが必要になるのではないのでしょうか。

尚、組織委員会メンバーは前年と変わらず、副委員長に吉松秀雄(78期)、委員に竹内容子(76期)、松尾康徳(84期)、三原朝利(94期)です。5名で今年度も頑張っていますので、よろしく!

.....

東筑同窓の絆を深め、読みやすい会報誌に

会報委員長 青 野 元 昭 (70期)

本誌「東筑会報」では、東筑会の組織や運営、東筑奨学会、各地区東筑会だより、各期だより、各界で活躍する東筑OB、部活動OB会等を掲載しています。また、現在の東筑高校の様子も投稿いただいています。東筑同窓の強い絆を感じているところです。

さて、コロナ禍もようやく明け、同窓の集まりも増えてきたようで、投稿も回復してきています。会報委員会では、同窓の声を益々反映し、東筑同窓にお知らせするホットな話題を提供していきたいと思っています。何か気づかれたことやご意見等がありましたら、事務局までお知らせください。

会報委員会のメンバーは、貞末敏郎(57期)、柳本昭子(76期)、石井紀子(81期)そして私の4名の委員です。会員数約21,000名の東筑同窓の皆様方に同窓会の活気や活力を感じていただきたく、また、読みやすい誌面になりますように、会報委員一同力を合わせて活動していきたいと思っています。今後ともご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

クレジットカードも今回から使えます

〜〜会費の納入方法が広がります〜〜

財務委員長 三 宅 正 輝 (71期)

クレジットカードによる会費の支払いが、6月10日の東筑会総会において承認されました。従来の郵便局、コンビニ、スマホアプリに加えてクレジットカードが今回から使えるようになり同封の会費納入の払い込み用紙が一部変更になっております。会費納入方法拡大のメリットとして

- 1 手数料が無料であること(郵便局利用では110円の手数料がかかります。)
- 2 スマホと同様に自宅からでも会費が納入でき、利便性がさらに向上します。
- 3 忙しい方や特に若い会員からの会費納入率の向上が見込めます。

導入に至る経緯は次のとおりです。

コンビニからの納入開始から3年が経過し、納入率・納入金額とも頭打ちになっております。初年度と3年目を比較すると、納入率(16.47%↓14.95%)納入金額(558万円↓505万円)といずれも減少しています。

単年度収支は赤字で毎年、基金から繰り入れているのが現状です。やがて原資が枯渇してあと10年もしないうちに東筑会の存亡にかかわる問題になると危惧されます。

会員の皆様におかれましては事情をご賢察され、東筑会会費の納入についてより一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

財務委員会のメンバーは、私のほか、副委員長 林良彦(71期)、中野優子(72期)、吉田真理子(72期) 加来千里(79期)の各氏です。

本原稿執筆に当たり資料を提供いただいた事務局の栗原先輩(70期)に感謝いたします。

令和4年度

会報発送・年会費納入状況

令和5年4月30日現在

期	4年発送	4年納入	期	4年発送	4年納入	期	4年発送	4年納入
22	1		56	296	72	90	288	25
23	1		57	310	85	91	278	16
24	3		58	289	73	92	271	22
25	3		59	340	85	93	249	19
26			60	296	68	94	213	18
27	2		61	280	57	95	215	14
28	2		62	329	75	96	216	19
29	3		63	369	86	97	221	8
30	5		64	295	63	98	253	16
31	5		65	317	78	99	223	13
32	14		66	287	63	100	226	9
33			67	290	71	101	249	12
34	8		68	301	61	102	223	15
35	8		69	328	73	103	243	8
36	6	1	70	277	66	104	240	8
37	8		71	294	68	105	260	10
38	9		72	332	72	106	261	10
39	20	2	73	250	58	107	243	8
40	22		74	249	67	108	253	8
41	16		75	277	57	109	267	1
42	24	2	76	280	58	110	253	
43	28	1	77	259	48	111	274	
44	42	3	78	226	37	112	278	
45	34	5	79	258	32	113	341	
46	60	4	80	228	24	114	309	1
47	56	5	81	253	44	115	311	
48	107	11	82	297	49	116	290	
49	219	37	83	243	25	117	285	
50	264	35	84	257	36	118	302	
51	290	43	85	267	27	119	313	
52	293	44	86	242	30	120	279	
53	315	53	87	259	34			
54	394	63	88	326	40			
55	257	49	89	310	19			
				計	20,357	2,519		

- 令和2年度納入2,770人
- 令和3年度納入2,545人
- 令和5年度から109期生の年会費納入が開始されます。

トピックス

あっぱれ日本一
山崎晴華さん

本校3年生ボート部の山崎晴華さんが、令和5年3月19日～21日に静岡県浜松市天竜ボート場で行われた、「第34回全国高等学校選抜ボート大会」の女子シングルスカルの部で、見事優勝しました。ボート部としても悲願の日本一になりました。

山崎さんは高校でボートを始め、その運動能力の高さに加え、ひたむきに練習に打ち込み、2年次からめきめきと力をつけていました。昨年10月に栃木県で行われた国民体育大会では、女子ダブルスカルの部で2位入賞を果たし、そして今回は初の全国優勝となりました。それを受け7月4日に福岡県知事及び、教育長に表敬訪問に伺いました。

山崎さんは7月末に北海道で行われた全国高校総体では、2冠目はならなかったものの、第3位入賞を果たしました。この後は、9月末に鹿児島で行われる国民体育大会に向けて、再度日本一に向けて取り組んでいます。優勝を受け、多くの方からお声がけをいただきました。本当にありがとうございます。



山崎晴華さん

公益財団法人

東筑奨学会

紹介と支援のお願い

会員の皆様には平素から東筑奨学会に対して、多大なご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

東筑奨学会は、東筑高校補習科及び東筑学館が廃止された際の剰余金を原資に発足したもので既に四十年以上がたっています。

東筑奨学会の事業としては、
①奨学金の授与
②一・二・年生成績優秀者の表彰、
③年度末の卒業生の成績優秀者の表彰
などとなっています。

これらの事業の支出は350万円弱になっています。

一方収入ですが近年の低金利政策の影響で預金利息収入は微々たるもので、ほぼ会員の皆様方の寄付で成り立っているのが実情です。

ここ数年まではまとまった金額のご寄付を頂きまして、収入が支出を辛うじて上回っている状態でした。ご寄付を頂きました会員の皆様には心より感謝申し上げます。

しかしながら、ここ数年間は新型コロナウイルス禍で東筑会総会並びに地区東筑会の開催も滞り、その際の本東筑奨学会の紹介もま

まならない状況が続いています。

奨学金支給額が預金利子と寄付金の合計金額を上回るという状況は今後も予想され、基金が徐々に減少し、円滑な奨学金制度を今後とも継続するには困難を伴う事は否めません。

こうした状況をご理解の上、東筑奨学会の運営にご協力のご希望をお願いいたします。
税務上の優遇措置などは事務局にご連絡下さい。

公益財団法人 東筑奨学会

代表理事 高嶋 邦 秀

事務局

〒807-1083

北九州市八幡西区則松

二丁目2番24号

福岡県立東筑高等学校 東筑会館内

電話 093-603-6815



※奨学基金へのご寄付は、左記口座へ振込みください。ようお願い申し上げます。

福岡銀行 折尾支店

普通預金 1321864

西日本シティ銀行 折尾支店

普通預金 1735106

遠賀信用金庫 折尾支店

普通預金 1129508

福岡ひびき信用金庫 折尾支店

普通預金 1238299

振込口座名

公益財団法人 東筑奨学会

代表理事 高嶋邦秀

令和4年度(令和4年4月)

令和5年3月 寄付者(敬称略)

杉本真由美(前東筑高校校長・79期)

城戸 健(元PTA会長)

東筑高校PTA理事会 東筑高校PTA

元東筑高校母の会 東筑会ゴルフ大会時

高嶋康年 (49期) 河野節子 (53期)

高嶋邦秀 (57期) 岩淵三千昭 (60期)

福井成元 (61期) 三原征彦 (61期)

溝上賢一 (65期) 岡 栄子 (71期)

大曲慎一 (93期) 1,834,284円

令和5年度(令和5年4月)

令和5年8月末までの状況 寄付者(敬称略)

木崎奈央子(元PTA会長)

城戸 健(元PTA会長)

東筑会総会時

関西東筑会

小宮 董 (56期)

東筑会ゴルフ大会時

岡垣東筑会時

三原征彦 (61期)

指山拓也 (93期)

安永 博 (66期)

母校近況

令和5年度合格者

国立大										私立大									
北海道大	筑波大	東京外国語大	東京海洋大	東京芸術大	お茶の水女子大	岐阜大	名古屋大	京都大	大阪大	大阪教育大	神戸大	奈良女子大	奈良教育大	島根大	岡山大	広島大	山口大	高知大	愛媛大
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	3	10	8	2	1
九州大	九州工業大	佐賀大	熊本大	大分大	宮崎大	鹿児島大	公立大	久留米大	西南学院大	九州産業大	福岡大	産業医科大	その他の私立大	明治学院大	法政大	日本大	東京理科大	中央大	芝浦工業大
37	2	1	2	1	3	1	1	4	2	1	3	6	48	6	1	4	7	5	4
下関市立大	北九州市立大	福岡女子大	福岡県立大	その他の公立大	防衛医科大	防衛大	水産大	その他	上智大	慶應義塾大	國學院大	専修大	255	1	1	1	2	3	1
1	2	1	2	1	2	5	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1

各部活動状況

(県大会出場以上を掲載)
(令和4年5月・令和5年7月)

- 将棋部**
 - ・第47回全国高校総文祭県予選 男子団体 3位
 - ・男子個人Bクラス 準優勝
- 音楽部**
 - ・第77回九州合唱コンクール 県大会 出場
- 吹奏楽部**
 - ・第16回県アンサンブルコンテスト 銀賞
- 写真部**
 - ・第7回九州総文祭県予選 特選
- 美術部**
 - ・令和4年度県高校総文祭 全国大会 特選
 - ・令和4年度 第36回デザインコンペ 入選
- ESS部**
 - ・第17回全国高校生英語ディベートonline大会 出場
 - ・第12回日本高校生バーラメンタリーディベート連盟杯 出場
 - ・第17回九州地区高校英語ディベート大会 (沖縄大会) online 3位
 - ・第21回県高校英語ディベート大会 2位
 - ・第12回日本高校生バーラメンタリーディベート連盟杯県大会予選 1位
 - ・第41回県高校英語スピーチコンテスト 暗唱の部 出場
- 生物部**
 - ・第46回全国高校総文祭生物部門 出場
 - ・第37回県高校総文祭 優秀賞
 - ・生物部門 優秀賞
 - ・ポスター発表部門 優良賞
 - ・第49回九州高校生生物研究発表 優秀賞
 - ・第66回日本学生科学賞県審査 最優秀賞・優秀賞
- 剣道部**
 - ・令和4年度県新人大会 男子団体 出場
 - ・令和5年度県高校総体 男子団体 出場
- 弓道部**
 - ・令和5年度県大会 女子個人 3名出場
- 水泳部**
 - ・令和4年度新人戦九州大会 男子50m自由形 出場
 - ・女子50m自由形 8位入賞・200m自由形 7位入賞
 - ・400m個人メドレー 7位入賞
 - ・100mバタフライ・平泳ぎ 各々出場
 - ・400mメドレーリレー 出場
 - ・令和5年度県春季選抜 女子総合3位
 - ・女子自由形800m 3位・400m 7位
 - ・個人メドレー 400m 4位
 - ・200m 6位
 - ・50m背泳ぎ 7位
 - ・平泳ぎ50m 2位・4位・7位
 - ・100m 5位・7位
 - ・400mメドレーリレー 3位
 - ・フリーリレー 7位
 - ・令和5年度高校総体県予選 女子総合4位
 - ・女子自由形400m 8位
 - ・800m 5位
- ボート部**
 - ・令和4年度国体 少年女子ダブルスカル 準優勝
 - ・令和4年度全国選抜大会九州地区予選 女子シングルスカル 3位入賞
 - ・令和4年度全国高校選抜大会 女子シングルスカル 優勝
 - ・令和5年度全九州大会 女子シングルスカル 準優勝
 - ・令和5年度国体九州ブロック大会 少年女子シングルスカル 優勝
 - ・少年女子舵手つきクォドルプル 3位入賞
- バドミントン部**
 - ・令和4年度県新人大会 男子女子共 出場
 - ・令和5年度県高校総体 女子 出場
 - ・令和5年度県高校総体 団体 出場
- 卓球部**
 - ・令和5年度県選手権大会 団体・シングルス・ダブルス 出場
 - ・令和5年度国体県大会 シングルス 出場
- 野球部**
 - ・第105回全国高校野球選手権 福岡大会 準優勝
- 図書委員会**
 - ・第68回青少年読書感想文 全国コンクール 入選
- 保健委員会**
 - ・令和4年度県保健会 標語・論文・ポスター・CGポスターコンクール 総合優秀校
 - ・令和4年度県高校保健会北九州市部 CGポスター 優秀賞
- ラグビー部**
 - ・令和4年度花園予選 県ベスト8
 - ・令和4年度新人戦 県ベスト8
 - ・令和5年度高校総体 県ベスト8
- サッカー部**
 - ・令和4年度県新人大会 出場
- 女子バスケットボール部**
 - ・令和4年度県新人大会 出場
 - ・令和5年度県高校総体 出場
- 女子バレーボール部**
 - ・令和4年度春高県大会 出場
 - ・令和4年度県新人大会 ベスト16
 - ・令和5年度県高校総体 出場
 - ・令和5年度天皇杯・皇后杯 福岡県ラウンド 出場

令和5年度 創立記念文化講演会

果てなき好奇心と健全に疑う心を

みずほ信託銀行株式会社代表取締役社長

82期 梅 田 圭 氏



講師の 梅田 圭 氏

シードから県ベスト4という輝かしい戦果を残されています。

講演は、「果てなき好奇心と健全に疑う心を」という演題で行われ、ご自身の高校時代の社会状況と現代との違いからお話が始まり、とりわけ情報の氾濫した現代社会において、玉石混淆の多量な情報に接していくかねばならない中、自己の信念や価値観をも「健全に疑う」ことの大切さ、また、御自身の留学体験を踏まえ、個人の想定を超えた「異質なものの」にコンタクトしていく「好奇心」の大切さを熱心に説かれていました。外の気温と生徒の熱気が合わさったためか、体育館はかなりの暑さとなっていたが、生徒たちは熱心にメモを取りながら、梅田氏の講演に聞き入っていました。

令和5年6月2日、創立記念と銘打った文化講演会が本校体育館で開催された。毎年、各分野でご活躍の本校卒業生をお招きし、全校生徒の前で講演を依頼している学校行事で、本年度講師は本校82期で、現在みずほ信託銀行株式会社代表取締役社長としてご活躍されている梅田圭氏です。

梅田氏は、昭和41年1月福岡県生まれ。本校在学中は野球部に所属し、3年次はキャプテンとしてチームを牽引されました。高校最後の夏の大会では、準々決勝で当時優勝候補の筆頭であった学校と対戦。誰もが第一シード校の順当勝ちを予想する中、梅田氏の先頭打者ホームランで乱打戦に持ち込み、最後はご自身がホームスチールで決勝点を挙げ、見事ジャイアントキリングを達成。最終的に、ノー



生徒との質疑応答

1時間の講演の後、15分ほどの質疑応答時間では、金融関係の仕事希望している生徒をはじめ、数名の生徒からの質問があり、その一つ一つに対して梅田氏からは設定時間ギリギリまで丁寧な御回答をいただきました。生徒会長の謝辞、花束贈呈を終え、生徒たちからの万雷の拍手に送られて梅田氏は体育館を後にされ、本年度の創立記念文化講演会は終了となりました。

令和4年度
国内研修

リーダーの資質を育成するために

東筑高校 第3学年主任

教諭 安 部 弘 敏 (104期)

り新幹線にて京都に向い、JR西日本

新型コロナウイルスの感染者が再び増加している状況下ではありましたが、万全の感染症対策を講じて、122期生の国内研修が実施され、意欲のある22名の生徒が参加しました。例年は1学年の12月に実施していましたが、ここ数年のコロナ禍のため、122期生は2学年の8月初旬に実施しました。紙幅の関係上、研修内容のすべてをお伝えすることはできませんが、3泊4日の研修の行程を簡単に振り返りたいと思います。

初日は、飛行機にて東京に向い、まず東京大学本郷キャンパスを見学しました。午後からは外資系製薬会社のアッヴィ合同会社にて企業訪問させていただきました。その後の東京東筑会の皆様との懇親会では、社会で活躍される諸先輩方と交流を深めました。2日目は、衆議院議員の緒方林太郎氏(89期)の案内の元、国会議事堂や諸官庁を見学しました。午後からは、三井住友信託銀行に企業訪問させていただきました。その後は東京大学駒場キャンパスを先輩学生の案内で見学しました。3日目は、東京よ

なりました。

ご多忙の中にも関わらず、東京からわざわざお越しいただき、ご講演いただいた梅田氏をはじめ、ご同伴いただいたみずほ信託銀行株式会社の方々、今回の講演に際しご尽力いただいた本校野球部後援会ならびに野球部OB会の皆様方に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。(文責 85期 教諭 増本俊記)



東京大学本郷キャンパス 赤門

の京都鉄道博物館にて施設見学及び企業訪問をさせていただきました。最終日の4日目は、午前中に京都大学桂キャンパスを訪問し、工学部の研究室及び実験室を見学させていただきました。午後から

は京都大学吉田キャンパスを訪問し、法学部の先生方、大学院生、留学生の皆様とパネルディスカッション形式で交流を深めました。



京都大学桂キャンパス

この国内研修は「社会に貢献する実行力のある次世代のリーダー」を育成するという本校の教育目標に基づいて実施しています。今回の研修で、「次世代のリーダー」に必要な資質とは何かを考えるよい機会となりました。

研修中にお世話になった諸先輩方は共通して三つの資質をもち、その大切さを生徒に伝えてくださいました。一つ目は「変化を恐れない姿勢」です。「ピンチはチャンス」という言葉に表されるように、環境や状況の変化に合わせて柔軟に、前向きに自分を変化させていく姿勢は、参加生徒の大きな励みとなりました。コロナ禍で生徒たちを取り巻く環境も大きく変化しています。変わらざることを恐れず、前向きに未来を切り拓いてほしいと思います。二つ目は

「多様な能力を身に付けること」です。社会の第一線で専門的なことに取り組んでおられる先輩方から異口同音に、「多様な能力」「教養」「人間力」などが大切であるとの言葉を頂きました。一つの専門性を支える土台として、様々なことに興味を持ち、何事も積極的に経験して、多様な能力を身に付けることが重要であるという先輩方の言葉は、参加生徒の心に強く響いたように思います。三つ目は「感謝の気持ちをもつこと」です。特に目の前のことだけでなく、その背後や背景に思いを馳せ、感謝の気持ちをもつという姿勢がとても印象的でした。



京都鉄道博物館内 JR西日本ワークショップ

研修中も多くの先輩方から「東筑高校にかつてお世話になったから、その恩返しをしたい」という大変ありがたいお言葉を頂きました。参加生徒は先輩方の熱い言葉に大いに刺激を受けるとともに、東筑高校の伝統と後輩を大事に思う校風を存分に感じとっておりました。彼らにはこの国内研修で受けた様々な

ご恩を、いつか恩返しできるよう、感謝の気持ちをもつて行動できる「次世代のリーダー」に育ってほしいと思います。最後になりますが、本研修会を後援していただいた東筑会ならびに東筑奨

教育環境整備事業について

「愛する生徒のため、学校のために」

今年度4月から東筑高校に赴任して参りました参事兼事務長の田中と申します。

本校在籍は3回目ですが、以前在籍していた当時は、校舎全体が老朽化した環境の中、文武両面にわたって生徒たちが輝かしい成績を残していることに対し、何とか良い環境の中で高校生活を送ってもらいたいと忸怩たる思いで過ごしておりました。念願が叶い、令和2年度から8年度にかけて、校舎大規模改造工事が入ることとなりました。体育館、食堂棟、普通教室棟はすでに竣工し、現在、中庭に図書館やパソコン教室が入る渡り廊下棟が建築中です。今後は、令和6年度に特別教室棟、7年度に現在の図書館棟、プール棟、8年度に東筑会館が工事に入る予定です。

県の校舎改造工事に併せて、県費で整備されない物品等の購入に充てるため、同窓会東筑会様が中心となって、教育環境整備事業として募金を実施していただきました。おかげさまで多額のご寄附をいただき、東筑高校の教育活動の充実・発展のため活用させていただいております。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

購入した内容につきまして報告いた

学会、そして研修の企画運営だけでなく、盛大な懇親会まで開催して頂いた東京東筑会の皆様、研修を快く受け入れて頂いた大学・企業関係の皆様から厚く御礼申し上げます。

参事兼事務長 田中 憲明

します。

①体育館の一文字

幕・袖幕・

後幕を新

調いたし

ました。

緞帳につ

いては天

井の構造

上計画外

となりま

したが、

今後も検

討して参

りたいと

考えております。

②食堂のテーブルチェ

アを購入し、おしゃれなカフェ風の空間

に生まれ変わりました。

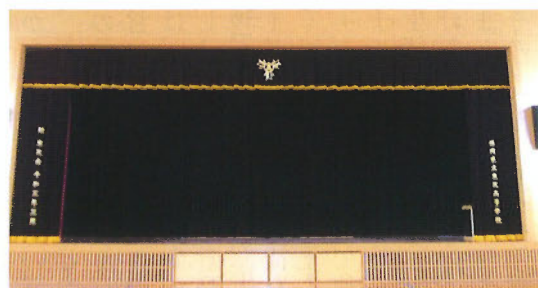
③生徒用トイレ

がすべて温水便座となりました。

県立

高校初であると思われ

ます。④大規模



体育館 一文字幕・袖幕・後幕

改造工事にあつては、通常建物はきれいになつても机椅子は古いままですが、普通教室棟の机・椅子も新しくなりました。⑤普通教室棟2階のオーブンスペースに勾玉型テーブルとキャスター付き椅子を配置しました。開放的な明るい環境の中、生徒たちが自由に過ごす様子



普通教室棟オープンスペース 机・椅子

日頃より同窓会の方々の母校に対する愛情をひしひしと感じているところです。本校職員として、わが子のような生徒のために、東筑高校の益々の発展のために貢献できるよう尽力して参りますので、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

が見られます。今後、工事の進行に伴い引き続き生徒用机・椅子やICT機器等を整備していく予定です。

計 報

小 野 晃氏 51期

2023年5月6日逝去

2000年〜2009年

3期9年に亘り東筑会会長として、その後は東筑奨学会理事長として、そして特別顧問として、同窓会と母校の発展に尽力されました。

ここに謹んで

お悔やみ申し上げます。

令和5年度

第31回東筑・小倉定期野球大会

近年にない圧勝、小倉にも拍手を

応援部顧問 増本 俊記 (85期)



令和5年5月31日。曇天より雨が滴る早朝の天候から開催自体も危ぶまれましたが、両校の対戦を待ちわびる多くの関係者の思いを受け、第31回東筑・小倉定期野球大会が決行されました。

北九州市民球場では、スタンドに陣取る両校の生徒あわせておよそ1500名以上。4年ぶりに声出し応援が許可され、どのような試合展開になるのか、また両校の応援はどれほどの盛り上がりを見せるのか、

二本の本塁打を含めて計17得点の猛攻を加え、投げては5人の投手が相手を2安打に抑える完封リレーを披露し、17対0で試合終了。私自身近年記憶にないほどの圧勝となりました。

本校生徒は、試合序盤こそ久々の声出し応援に戸惑いもあったようで、声援も小さく、これはどうなることかと頭を抱えましたが、打線の猛攻が続くスタンド全体が盛り上がるにつれ、例年通りの大声援へと変わり、何とか面目を保ったと胸をなでおろした次第です。



堂々の応援

ただ、驚嘆すべきは、これだけの点差をつけられたにもかかわらず、小倉高校の応援スタンドの大声援が試合終了まで途切れなかったこと。定期戦から数日経って実施された創立記念文化講演会の際、本校小川校長が生徒の前で、野球部、応援生徒の頑張りを労った後、「最後まで大声援を送り続けた小倉高校の生徒にも拍手を」と、小倉高校生徒の素晴らしい姿に称賛を送っておりましたが、私自身も、小倉高校に根付く底知れぬプライドには脱帽するしかありませんでした。応援部顧問という立場から思うに、もし逆の立場になったら、本校生徒にあれほどの大声援を最後の最後まで続けさせる自信は、正直に言っておりません。このことに関しては、双方の生徒の気質の違いもあるでしょうが、恐らく小倉高校には「借り物ではない倉高独自の応援」というプライドが、潜在的に生徒たちに染み渡っているように思われます。

とりわけチャンステーマとして使われるオリジナル曲。その曲が流れるとスタンドの生徒たちが小躍りし、喜びの歓声を上げる場面を何度も目の当たりにしてきました。自校応援に対する「愛着」がその「プライド」を涵養しているのでしょう。応援の出来不出来で勝った負けは言えても、本質的な部分で小倉高校に勝てないところなのだろうと思います。

小倉高校がこのオリジナル曲を大切に育てて30数年。もし今小倉高校が甲子園に出場したら、アルプススタンドの半数はそのオリジナル曲の大声援で埋めることが出来るでしょう。私はそれに大きな羨望と一抹の嫉妬を覚えますが、そう考える人間はそれほど多くはないのかもしれない。

令和5年度
国内研修

様々な出会いを通して感じたこと・学んだこと

123期 学年主任 山下 聖 士(97期)

本研修は、国内の先進的な研究機関や大学、企業での研修を通して最先端の技術や社会の課題を体感し、現場で活躍する研究者や社会人との交流を通して科学的知識や思考方法を理解し、課題発見能力やコミュニケーション能力を育成することを目的として行われています。関東、関西在住の各界第一線で活躍される本校卒業生や関係者を訪問し、職場見学をするとともに、懇談を通して仕事の内容や課題を知ること、東京大学、京都大学キャンパスでの研究室訪問や施設見学、講義を通して大学での学びとは何かを知り、研修の成果を全生徒に還元することが研修の概要です。



東京大学柏キャンパスにて(2023年7月31日)

令和5年度は、123期の生徒20名が令和5年7月30日(日)～8月2日(水)の3泊4日で研修を行いました。

研修初日は、京都鉄道博物館を訪問し、JR西日本の宮内氏(87期)と博物館館長である杉山氏に講義を行っていただきました。「JRうめきたエリア」の開発など最新の事業内容についての話や、事故の経験から「安全性」について追求されている事などの話を聞くことができました。

2日目は、京都大学訪問でした。午前は桂キャンパス、午後は吉田キャンパスを訪れました。桂キャンパスでは、野口助教(106期)の案内で、空洞実験の設備や研究室等に案内していただきました。また、宮崎助教からは自身の研究の話や将来の進路選択の参考になる話をいただきました。午後は吉田キャンパスでは、法学部の原田教授(94期)のお声掛けにより集まっていたいただいた教授の方々や、大学院生、学部生によるパネルディスカッションを行っていただきました。事前アンケートに書いた質問を一つ一つ丁寧に回答していただきました。

3日目は、午前中は株式会社ラックに企業訪問でした。株式会社ラックサイバーリンクの代表取締役社長の田代氏(97期)による会社説明と最先端のセキュリティセンターや屋上スペースを案内していただき、生徒は大興奮の様子でした。午後は、東京大学柏キャンパスを訪問し、伊賀准教授と山口准教授の講義と東京大学宇宙研究所が運



緒方林太郎氏と国会議事堂前にて(2023年8月2日)

用するスーパーカミオカンデについての説明を受けました。夜には、東京東筑会主催の懇親会が行われ、熱烈的な歓迎を受け、たくさんの方と交流し、話をする機会を与えてくださり、生徒は大いに刺激を受けたことと思います。

最終日は、まず国土交通省を訪問しました。そこで、本校の卒業生である高杉氏(84期)、川埜氏(86期)、児玉氏(95期)、柄沢氏(97期)の4名に国土交通行政についてのお話と様々な行政について考える機会をいただきました。国土交通省と一言でいっても、その業務は多岐にわたり、各分野でのお話は大変興味深い話でした。次に、緒方林太郎氏(89期)に国会議事堂を案内していただきました。将来に向けて英語力の必要性など貴重な話もしていただきました。最後に、現役東大生である118期の甘利さん、川口さん、北村さん、中岡さんに本郷キャンパスを案内していただきました。

この4日間の研修を通して学んだことは、

- ・物事を決めるときは視野を広げること(様々な切り口で見ること)
- ・失敗から何を学び、どう次にいかしていくのか
- ・なぜ?と漠然と問いかけられるのではなく、良い問いとはどういうものか?
- ・人との関わり方
- ・感謝の気持ちをもつこと、人に頼らないのは単なる能力不足
- ・大学そして将来の学びについて
- ・一人の人間としてどう生きていくか
- ・セキュリティの重要性、ICTを使う一人としての自覚
- ・最先端の技術、今後の可能性(スーパーカミオカンデによるニュートリノの観測から)
- ・同窓生のアツいつながり
- ・国土交通省の果たす役割
- ・日本語・英語の重要性
- ・などです。

また多くの方々と会話をするなかでたくさんの方々の事を教わったと思います。生徒一人ひとり感じ方も様々であったと思いますが、どの研修も貴重な内容は人生においてとても重要であることは言うまでもありません。今回の研修では、「同窓」というだけで大変ご多忙にも関わらず、後輩たちのために多大なるご尽力を賜りました。参加生徒もこの国内研修で受けた様々な「出会い」を大切に、いつか恩返しできるよう、感謝の念をもって行動でき、「次世代のリーダー」に育ってほしいと願っています。

最後になりますが、本研修会を後援していただいた東筑会ならびに東筑奨



東京東筑会主催の懇親会

学会、そして研修の企画運営だけでなく、盛大な懇親会まで開催して頂いた東京東筑会の皆様、研修を快く受け入れて頂いた大学・企業関係各位に心から厚く御礼申し上げます。参加生徒は大いに刺激を受けるとともに、東筑高校の伝統と後輩を大事に思う校風を存分に味わうことができました。皆様方のご恩を感じ、今後ますます学問や学校行事に励んでくれることと思います。今後とも本校の取組に、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。本当にありがとうございます。

令和5年度 東筑高等学校 体育祭

テーマ
Let's Sparkle



”学年対抗戦”と云う珍しい形式での母校体育祭が、9月6日行われました。数年ぶりの制限のない開催で、第1学年は今を楽しむ、第2学年は青春、第3学年は灯火、をスローガンに13の種目で得点を競いました。



各クラス男女選抜のクラス対抗リレー

3学年
女子選抜の綱とり

熱気あふれる応援合戦



堂々の入場行進

文化祭を終えて

生徒会担当 太田 千 絵 (109期)

今、記事を読んでいたいている方々の中にも、実際に本校の今年度の文化祭に来て下さった方が多数いらっしゃるのではないのでしょうか。今年度は3年ぶりの有観客での開催となりました。

各学年・クラス企画は常に行列状態で、特に1年生の劇などは百年館に入るのもやっと、という状況でした。入学して間もない1年生でしたが、お客さんに楽しんでほしいと創意工夫を凝らして劇を作り上げていく過程で、クラス内の結束力を高めることができました。

文化部企画も見所で、自分たちの部活にかける熱い思いだけでなく、コロナ禍で活動が制限された先輩たちの思いも受け継いでの発表となりました。当日は先輩たちを見守る卒業した先輩たちの姿も見られました。

そして、文化祭のクライマックスを飾る一声。盛り上がりは最高潮に達しました。バンドの演奏に合わせ声をあげる生徒たち。パワー爆発の2曲。様々な行事がコロナ禍でなくなり、思うように送れなかった日々との訣別を宣言するかのようにならに歌声が響きました。学校全体が一体となった瞬間でした。

今回の文化祭は久しぶりの一般公開で、特に「繋がり」や「結びつき」を感じる行事となりました。クラス、学年、部活動だけでなく、校内を超えた地域の方々や卒業生との結びつきも改めて実感することができました。

来年度はさらにパワーアップした文化祭にしたいと考えています。同窓生の皆さん、ぜひ母校へ足をお運びください。



縁日



一声



書道パフォーマンス

各界で活躍する 東筑同窓

多くの東筑同窓が各界で活躍されていますが、今年は12名の方から投稿いただきました。若い世代からの投稿もあり、活気を感じています。

「ベストCFO」として

世界の投資家を相手に

作家・ニコンCFO

徳成 旨 亮 (76期)

私は、「日経平均株価」を構成する225社のなかの2社、日本最大の金融グループである三菱UFJと、カメラや半導体装置メーカーのニコンでCFO（最高財務責任者）を務めてきました。

富裕層ファンド、欧米の年金基金やヘッジファンドと対話し、村上ファンドに代表されるアクティビスト（もの言う株主）にも対応してきました。

これらグローバル投資家の投票で、4年連続ベストCFO（日本の銀行部門）に選んでいただき、資本主義の総本山、ニューヨーク証券取引所で鐘を鳴らす栄誉も得ました。（日本人では、安倍元首相やサンリオのキティちゃんなど、ごく少数です。）



2018年4月20日ニューヨーク証券取引所でクローリングベルを鳴らす筆者(中央)

日本企業の3/5割の株主は海外投資家です。私はCFOとして世界を飛び回り、中東のオイルマネー、中国の

なぜCFOが「企業成長」と「日本経済復活」の鍵なのか？

4年連続「ベストCFO」に選ばれた著者が教える
企業と個人が目指すべき道とは？

CFO思考 日本企業最大の「欠落」とその処方箋 徳成旨亮著



アマゾンでベストセラー(金融関連1位)の『CFO思考』

本業のかたわら、投資や金融の楽しさを伝える本をペンネームで刊行（2冊はハングル訳）し、今年6月には、初めて本名で『CFO思考』という本



テレビ東京系列(テレQ)モーニングサテライト「CFO参上」のコーナーキャスターの塩田真弓さん(北九州ご出身)とニコン・ミュージアムにて(撮影日2022年4月11日)

こうした活動の原点はすべて東筑にあります。ペンネームは本の楽しさを教えてくれた友人の苗字を借りたものですし、フルートはブラバンで吹いていました。同級生には、映画監督になった友や大学を中退しながらもサイバーセキュリティの第一人者になった友人もおり、常に刺激を受けています。

を上梓しました。CFOという仕事の醍醐味を書いたこの本はアマゾンで一時、元・乃木坂46齋藤飛鳥さん写真集と同等の売れ行きとなりました。（20130代に人気の自己啓発サイトPinterestに対談動画などがアップされていますのでご覧ください。）趣味のフルートでは、Perfumからバツハマまでの曲をカバーしたYouTubeチャンネル（109 tokusan）を開設し、総再生回数は40万を超えています。

これからの時代、常識的な回答は、チャットGPTなどの生成系AIが教えてくれます。「人と違う何か」を生み出すことが評価される時代になることは間違いありません。人生に無駄なものはありません。失敗も失恋も明日への糧になります。若い皆さんには、自分の限界を自分で決めないで欲しいと思います。好きなことを、アニマル・スピリッツ（実現したいことに対する非合理的なまでの期待と熱意）を持って追求する。そんな未来を皆さんが切り拓いて行くことを期待しています。

徳成 旨亮氏プロフィール

1960年3月小倉生まれ、藍島・馬島で幼少期を過ごす。明治学園小学校、岡垣中学校を経て、東筑へ。慶應義塾大学卒、ペンシルベニア大学大学院ウォートン校AMPOB修了。半沢頭取（徳成の後輩）らと共に、東京三菱銀行とUFJ銀行の経営統合実務を担当。東南アジアの銀行のM&A（買収）やモルガン・スタンレー出資にも関与。米国ユニオンバンク取締役、金融庁の専門委員会等を歴任。



● ただいま! 北九州

日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社

古 長 由里子 (81期)



筆者近影

大学卒業以来、長年東京で社会生活をを送り、この3月に北九州にUターンいたしました。

生まれ育った地元に戻って働くという貴重なご縁に感謝し、遅まきながら地域の先駆者に学び、当事者としてこの街の発展のために行動したいと思っています。

北九州市と日本IBMは昨年8月に連携協定を結び、「IBM九州DXセンター」を11月に開設しました。企業のシステム開発・運用をご支援する業務に加えて、地域のデジタル・トランスフォーメーション(DX)推進や次世代人材育成の拠点となるよう、地元企業、教育機関、自治体、エンジニア・コミュニティの皆様と連携し共創しています。

IBM地域DXセンターは、他にも札幌、那覇、仙台、広島、高松、長野と全国に拡大中で、各地でITエンジニアの採用を進めており、2024年末までに地域のパートナー企業を含め、全体で2,500名規模の体制を目指しています。

働く場所を問わないフルリモートの勤務体系や65歳まで働ける人事制度を導入し、UターンやIターン、家庭の事情と仕事を両立しながら柔軟に能力を発揮できる環境を提供し、「地域で豊かに暮らし、グローバルに活躍する」機会創出に取り組んでいます。私自身、北九州に帰ってきて、改めてこの街の暮らしやすさを感じており、都会と自然が融合する環境、生活費の安さ、食のクオリティの高さ、そして人々の温かさなど、もともと日本中、世界中にアピールしたいと思っています。

文武両道・質実剛健という校風に惹かれて入学した東筑時代、両道には程遠く学業そつちのけで友人達と毎日自由に遊び、語り合い、体育祭や文化祭の企画や準備に明け暮れたり、と楽しい思い出ばかり。振り返ると、今につながるチームコラボレーションやコミュニケーションの素養を自然と身につけることができた感謝しています。

社会人としてのキャリアは、企画・マーケティング分野が長く、近年では顧客視点での体験デザインや会社や組織の枠を超えた「共創」と「学び」に注力しています。北九州市においても大学や高校での講義やデザイン思考ワークショップを通じて、アントレプレナーシップ(起業家精神、自ら行動を起こすマインド)を醸成する活動を進めています。

今年、同級生の小川昇二郎さんが校長先生となった節目で、本会報へ寄稿の機会をいただきました大変光栄です。東筑高校同窓会という素晴らしいコミュニティの一員として、世代を超えてOB/OGの皆さまと交流し、一緒に

できる機会を心から感謝しております。世界に羽ばたく東筑会ネットワークが地域の社会課題を解決し発展を支える、そんな事例を皆さまと創れたらと願っています。



地域発展のために関係者がつながって共創するイメージ



南アフリカの小学校遠足で折り紙交流 (2016年)

ふるなが 古長 由里子氏プロフィール

響南中学校(現若松中学校)出身。外資IT企業でマーケティングを歴任後IBM入社。クラウドやAIのビジネス開発や営業、マーケティングに従事。地域の課題解決者との交流を軸に、テクノロジーと信頼でより良い未来を拓く共創活動を推進。2023年2月より、IBM九州DXセンター長に就任。北九州市での開発/BPOセンターの拡充に加え、産官学連携でのDX/GX推進や人材育成にも注力。全国に拡大する地域DXセンターの広報PRも担当。スタートアップ企業「クアンド」(製造・北九州)、「OnBoard」(女性活躍・東京)の社外アドバイザーを務めている。

● あなたの漢方わたしの漢方 飯塚病院から

飯塚病院漢方診療科予防医学センター勤務

矢野 博 美 (86期)

1年時担任の植生美穂子先生が医学部を勧めてくれました。修学旅行の上高地で華やかなスキーを披露した同級生の幸子さんが2年生になる前に急逝しました。春休みに検査入院すると話してくれた彼女にお見舞いに行くと一言もなかったことを今でも後悔しています。その後、佐賀医大に入学・卒業、内科に入学しました。赴任先の伊万里の前田病院で佐賀の栗山一彦先生に出会い漢方を教えてもらいました。後漢の時代に感染症に対する治療法として編纂された傷寒論が今でも教科書で、二千年を経て今なお残っている漢方薬は確



【写真1】

かに効果があります。私は2006年から飯塚病院に勤務しています。飯塚病院は全国でも珍しい入院病棟を持つ漢方診療科があり全国から難病の患者さんが来られるのでとても珍しい疾患を診ることもあります。入院患者さんには主に煎じ薬で治療をしています。

漢方にあつて、西洋医学にないものは、冷えや倦怠感、食欲不振、アンチエイジングなどの治療が出来ることでしよう。この冷えや衰弱の治療に欠かせないのが猛毒の烏兜の根が原料の附子や烏頭です。私は烏兜を上手に使うので『烏頭の魔法使い』と呼ばれています。コロナに対しても漢方薬は効果があることが分かります。漢方エキス製剤が品切れになる未曾有の出来事もありました。6月にはコロナ後初めてとなる現地開催の学会が福岡であり師匠の栗山先生が会頭を務め私も準備委員として活動しました。学会はお客様で盛会でした。東筑の同級生にもた



【写真2】

くさん参加してもらいたい土曜日の夜はミニ同窓会となり楽しい時間を過ごしました。

今日(7月27日)は久留米に高校野球の決勝戦の応援に行きました。卒業後も大きな感動をくれる東筑の野球部のみなさんに感謝しています。

矢野 博美氏プロフィール

沖田中学出身。昭和63年佐賀医科大学入学、平成6年卒業、佐賀医科大学附属病院内科入局。平成8年飯塚病院内科研修。平成9年佐賀医科大学病院血液内科医員。平成11年前田病院(伊万里市)で漢方を始める。平成18年飯塚病院漢方診療科、予防医学センター勤務、現在に至る。日本内科学会総合内科専門医、日本東洋医学会専門医・指導医、日本医師会認定産業医、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会検診マンモグラフィ読影認定医。

プライベートでは二児(すでに成人)の母、両親と実家暮らし。趣味は、毎年夏の東筑野球の応援、ハワイ旅行、読書、英語(職場の英語新聞に毎月投稿している。)

弁護士になって23年、担当した事件



筆者近影

黒崎合同法律事務所 弁護士
東 敦子 (89期)

ブラック校則と子どもの権利
大人だって、
みんな子どもだったんだ

写真の説明

【写真1】第73回日本東洋医学会学術総会の写真撮影用のパネル。人物(会頭と名誉会頭)のイラストは筆者の長女作。2023年6月18日撮影。

【写真2】YouTube未病息災術入門11の14に上司と出演。2022年12月撮影。

【写真3】あつまれ飯塚漢方カンファレンスの表紙。同僚の吉永亮先生著。トリカブトを解説中のネコのヒロミ先生。2021年7月発刊(南山堂)。



【写真3】



折尾駅の弁護士会ヒアリング(2022年8月)

左から、朴憲浩弁護士・
中村祐貴弁護士(110期)・筆者

弁護士会の企画で校則のヒアリング。「ツープロック禁止、眉毛は整えるな。面接で困るって(高2)」「連帯責任やめて。一人の違反で全員がスマホ使えないのはおかしい(高1)」社会は厳しい、理不尽に耐えろという人もいますが、社会の方がマシです。面接でみているのは外見ではないし、社員が飲酒運転で捕まっても、マイカー通勤全員禁止になる会社はありません。

「多様性の尊重って言うけど先生たちがいいと思う範囲しか許さない」という声も。校則は、髪型も服装も日々の行動までも「こうあるべきだ」と決

で気になる子がたくさんいます。成績が下がるって何時間も説教される子、忘れ物をした友達から罵倒される姿をみて不登校になった子。皆さんは日本の子どもの精神的幸福度の低さと自死率の高さを知っていますか。ジャニーズの性被害調査で注目される国連は、ずっと以前から「あまりにも競争的な制度を含むストレスフルな学校環境」の改善を日本に求めています。

めつけて多様性を許しません。子ども
の権利条約は「子どもにとって最善の
利益」を決めるとき、子どもの意見を
尊重することが大切で、社会や親の都
合を押しつけてはいけないと言ってい
るのに。

東筑高校のホームページの下の方に
「生徒心得」があります。細かい意見
は置いて、○○な東筑生になろう
とか、リーダー目指そうっていうのが
やっぱり苦手。私は、毎日眠くて目標
も見つからなかったし、応援練習や体
育祭のときの「一致団結を押し付けら
れる感じ」も嫌いでした。自分から応
援したり、運動したりすることや、盛
り上がっている人を見るのは楽しいで
す。でも、押し付けられるのは嫌でし
た。大人もみんな子どもだったのに、
大人だってダメなところがたくさんあ
るのに、子どもにはあれしろ、これは
するなって、おかしい。「子ども基本法」
ができたのは、わざわざこれを作らな
いといけないほど子どもたちの環境が
酷くなっているということです。子ど

シンポジウム

「ねえ、きいてっちゃん」

「子どもたちの声と多様な学び」
子どもにとって身近な社会である学校に
焦点を当てつつ、子どもの現状や課題を
見つめ、「子どもの権利」について考えま
した。



2022年10月九州弁護士会連合会
第75回定期大会(北九州大会)

も
の
権
利
、
意
見
表
明
の
確
立
に
む
け
て
、
こ
れ
か
ら
も
走
り
続
け
ま
す
。
子
ど
も
の
と
き
の
自
分
の
心
の
声
を
思
い
出
し
な
が
ら
。

東 敦子プロフィール

浅川中学校出身。東筑高校89期。
平成7年九州大学法学部卒
司法試験の恩師の「どんなにどん底
の状況になっても、生きていてよかつ
たと思える世の中を作るのが法律
家」という言葉に感動
平成12年福岡県弁護士会弁護士登録
平成22年北九州爪ヶア事件無罪判決
高齢の入院患者の爪ヶアをしていた
看護師が「虐待」と誤解され逮捕
されたが、3年かけて無罪に。捜
査機関、行政、マスコミ、企業の4
つの権力と戦った上田看護師はすこ
い人。上田さんの長女は東筑高校バ
レー部で活躍。
平成23年小倉監禁事件・犯罪被害者
給付金支給給付事件
11才で父親を殺害され、監禁し続
けられた女性が、17才で逃げた後、
被害者給付金を申請したところ、
福岡県から「殺人から2年経ってい
るから時効」とされた事件。最高
裁まで争い、支給が確定。法律が
間違っていると思ったら、声をあげ
て変えればいいのです。

現在

黒崎合同法律事務所、民事事件、
家事事件（離婚、相続）、刑事事
件全般のいわゆるマチ弁。公益財団
法人石橋奨学会、福岡県子どもア
ドボカシーセンター、PLANET（旧
称..北九州DARC）薬物依存回
復支援）などの理事をしている。弁
護士にたどり着くまで大変な状況
を生きている人が多い。依頼人の生
きる姿勢に励まされたり、鋭い感
覚に気づきをもらえたりする日々。

悪性脳腫瘍の克服をめざして

東京医科歯科大学
脳神経外科 講師

田 村 郁 (92期)



手術中の筆者

「病気で困っている人の役に立ちたい」と医師になることを決めたのは、東筑生の頃でした。ピアニストを夢見る少女でしたが、高1で応募した「国際人としての私の抱負」という懸賞論文には「ピアニストと医者になって、世界中の病気の人を救い感動を分かち合いたい」と今読み返すと恥ずかしくなるような壮大な夢が書かれていました。ありがたいことに、この論文で最優秀賞をいただき、高2の夏休みには副賞のイギリス語学研修を楽しむことができました。

その後、世界へ飛び出す第一歩、の
思いで、大学は北九州を離れ東京医科
歯科大学で学びました。そして神経科
学と自分の技術で患者さんを治すこと
ができる外科医の仕事に憧れ、卒業後
は母校の脳神経外科に入りました。卒
後1、2年目に多くの脳腫瘍患者さん
を担当する中で、手術・化学療法・放
射線治療等々を組み合わせて一人一人に
あった治療を行う脳腫瘍の診療に興味
をもちました。診療で救える命は自分
の目の前の人だけ、でも研究は世界中

の人の助けになる可能性があると思
い、研究に興味を持ち始めたのが卒後
3、4年目の頃でした。卒後5年目に
大学院に入学し、悪性脳腫瘍の治療抵
抗性機序の研究を始めました。幹細胞
マーカー陽性の脳腫瘍細胞が放射線・
化学療法後も残存し、脳腫瘍の再発に
関わることを証明し、この研究は
2009年に世界脳神経外科連合会か
ら Young Neurosurgeon award を、
2011年に国際定位放射線学会か
ら Young Professional ISRS award を
頂くことができました。また大学院在
学中、東京大学免疫学教室の研究生と
して、細胞死受容体のシグナル伝達に
ついて研究し、学位を取得しました。



ボストンシンフォニーホールで行われた
WFNS世界脳神経外科連合会の授賞式

脳外科専門医取得後の2009年4
月、ハーバード大学医学校/マサチュ
ーセッツ総合病院に留学し、悪性脳腫
瘍に対する新しい治療法開発の研究
に従事しました。留学中は、ボストン
シンフォニーの演奏を聴きにいった
り、テニスを楽しんだり、レッドソツ

2012年に帰国後は、東京医科大学脳神経外科で悪性脳腫瘍を中心に、脳卒中・頭部外傷など多くの患者さんの治療に携わらせていただいています。悪性脳腫瘍は手術摘出度と予後が強く関係しているので、障害を残すことなく最大の腫瘍摘出を目指し、術中モニタリング、ニューロナビゲーション、術中蛍光診断等の新しいテクノロジーを取り入れた手術を行なっています。手術中に麻酔を一次的に切って患者さんを覚醒させ、言語機能や運動機能を確認する覚醒下手術を行うこともあります。また近年、悪性脳腫瘍の遺伝子異常が次々明らか



病院ロビーでのピアノコンサートで演奏する筆者

クスの試合を観に行ったり、ニューヨークの試合を観に行ったり、ニューヨークの音楽院の教授であるローゼンバウム先生のピアノレッスンに通ったりと、研究生活だけでなくポストン生活も楽しむことができました。ハーバードやMITをはじめ多くの大学や研究機関が集まるボストンで、世界中からの色々な価値観を持つ人達と出会い、視野が広がったことが自分の財産になったように思います。

かとなり、薬剤効果や予後が異なることが知られるようになってきたため、術後は、病理所見や臨床所見に加えて遺伝子異常に基づいた個別化治療を行なっています。研究では、大学院生と一緒に悪性脳腫瘍の病態や画像診断についての橋渡し研究を行うと共に、JCOG脳腫瘍グループのコアメンバーとして複数の臨床試験に参加し、新規治療法の開発研究を行っています。今後も脳外科医として悪性脳腫瘍の治療に精一杯取り組み、診療で出た疑問を解決するような研究を続けることで、悪性脳腫瘍患者さんの予後を少しでも改善できるよう努力していきたいと思っています。

九州の文化

「本格焼酎と剣道」の樗里

三和酒類株式会社

三和研究所開発室室長

松本 真一郎 (93期)



いいちこ下町のハイボール開発者インタビュー時の筆者(2021年1月)

私は2000年に大分県宇佐市にある本格焼酎メーカーの三和酒類株式会社に入社して以来23年間、本格焼酎の製造、研究開発に携わっています。

田村 郁氏プロフィール

本城中学校出身。東京医科大学医科大学総合研究科修了(医学博士)。東京医科大学医科大学付属病院、武蔵野赤十字病院、取手協同病院、ハーバード大学医学部/マサチューセッツ総合病院博士研究員、東京医科大学脳神経外科助教を経て、現在東京医科大学脳神経外科講師、病院長補佐、医療連携支援センター・センター長。私生活では小1と3歳の2児の母として奮闘中。

三和酒類は麦焼酎「いいちこ」を主力商品として製造販売するメーカーですが、日本酒「和香牡丹」や「安心院ワイン」などの酒類事業や、焼酎の蒸留残渣から抽出した機能性食品素材を販売する事業も行っています。

2022年6月に、東筑高校「ようこそ先輩」で本格焼酎について学生の皆様に講演をさせて頂きました。残念ながら、コロナ禍のためオンラインでしたが、本格焼酎に関わる私たちの研究開発を紹介する貴重な機会を頂きました。少しでも九州の伝統産業や食文化に興味を持って頂けたのであればありがたいです。

また、私はNHKの大河ドラマが好きで武士に憧れ、中学から剣道を始めました。それから35年間、多くの方々のご指導のおかげで剣道を継続できています。東筑高校剣道部の恩師は今村勝人先生です。今でも1月3日の初稽古は、東筑の武道場に戻り今村先生に稽古をつけて頂くことが新年の大切な行事となっています。

な行事となっています。現在私たちは、地域の小・中学生のクラブチーム「三和剣友会」の運営、指導も行っています。今年度より、部活動の地域クラブ移行化が具体的に進み、「地域クラブ・三和剣友会」として大分県中学校総合体育大会(県総体)へ出場することが決まりました。これは、大分県下で初のケースですが、過疎地域では、中学校単位で競技継続が困難な学生が多く、受け皿の意味でも今回の対応を決断しています。

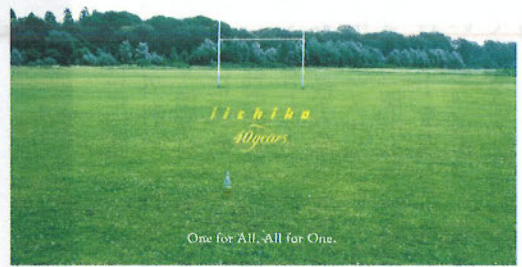


三和剣友会の剣道指導風景 筆者近影

本格焼酎造りと剣道は、九州の風土を色濃く残した文化の粋であり、多くの先人たちが黙々と世代の樗里を繰り返しながら現代まで伝えていくという共通点があります。「今、樗を携えている私の役割とは何か？」を考えながら日々の精進を続けます。

お酒のお付き合い、剣道のお付き合いどちらも大歓迎です。是非、本格焼酎や日本酒・ワインを楽しむために「いいちこ日田蒸留所」や「辛島虚空

乃蔵「安心院葡萄酒工房」へ遊びにいらしてください。



iichiko40周年のいいいちご駅貼ポスター
筆者の好きなポスター(2019年1月)



iichikoスタイル
(三和酒類の情報サイト)

松本 真二郎氏プロフィール

八幡西区千代中学校出身。
2000年高知大学農学部卒業。
2000年大分県宇佐市の三和酒類株式会社へ入社。以来、焼酎製造、研究開発の部門で業務を行う。
2021年7月より三和研究所開発室室長(現職)。
一般社団法人日本ソムリエ協会認定ソムリエ。
剣道五段。宇佐市立駅川中学校剣道部外部講師。
三和酒類剣道部の運営する地域クラブ「三和剣友会」にて指導、運営を務める。

貴重な出会いに支えられて

京都大学大学院法学研究科教授

原 田 大 樹 (94期)

私は今、京都大学大学院法学研究科・法学部で行政法学の研究・教育に携わっています。しかし、東筑高校に入學した今から30年前の1993年当時、法学への関心はほとんどなく、1996年に九州大学の法学部に入學したのは、消極的な進路選択の結果でした。大学の専門科目の内容がほとんど分からず、自分には向いていないと思っているときに出会ったのが、行政法学を専門とする大橋洋一先生の授業でした。それは法学部で初めての分ける授業で、3年次以降のゼミに行くならここしかないとその時に思いました。



母校2年9組・石橋学級での教育実習(1999年7月)
(中央のスーツが筆者)

その後、教職(高校教員)と迷いつつ、大橋先生に勧められて結局は研究者の道を選び、修士課程・博士後期課程を経て教員となり、九州大学には学生と

して9年、教員として8年在籍しました。日本の行政法学は歴史的にドイツの影響を強く受けており、またグローバル化と行政法学の関係を就職後の研究テーマとしていたことから、20年前に福岡で初めてお会いしたドイツ・コンスタンツ大学のハンス・クリスティアン・レール先生のもとに15年前から2年間留学しました。ドイツ留学の経験は、自分自身の考え方やものの見方を大きく広げてくれました。その後も(コロナ禍の時期を除いて)ドイツに毎年複数回訪問し、主として公法学研究者との研究交流を続けています。



Humboldt Alumni賞授賞式(2019年7月)
(筆者は左から2番目)メルケル首相(当時)(右から5番目)と

京都大学に移籍したのは、今から10年前のことでした。京都大学でも多くの学生さんとの出会いがありました。とりわけ印象深いのは、古閑喜周君(114期)との出会いです。古閑君は彼が東筑高校に在学中の2014年に直接メールで連絡をくれ、黒崎井筒屋

で進路のことについて話しました。その後彼は京都大学法学部に入學し、私の学部演習に参加し、現在は文部科学省で活躍しています。彼が繋いだ縁で、2015年から国内ジュニアス研修を受け入れるようになり(東筑会報39号でも紹介して頂きました)、2019年の研修に参加していた砂川史佳さん(120期)が現在京都大学文学部で勉強しています。

こうして振り返ってみると、これまでの職業経験の多くは、数々の貴重な出会いに支えられていることが改めて分かります。そして、こうした出会いの発点は、30年前に出会った東筑高校の多才な同級生たちから得た刺激にあると思います。出会いの連鎖を与えてくれた母校に感謝しつつ、次世代の育成のため微力を尽くして参りたいと思います。

原田 大樹氏プロフィール

黒崎中学校出身。九州大学法学部・大学院法学府修士課程・同博士後期課程を経て、2005年から九州大学大学院法学研究科講師、翌年から同助教授(准教授)。2013年から京都大学法学研究科准教授、翌年から同教授。現在、京都大学法学系(大学院法学研究科)教授・法学研究科附属法政策共同研究センター「環境と法」ユニットリーダー(兼任)。公的活動として、消費者委員会委員、三重県公文書等管理審査会委員長、宇治市情報公開・個人情報保護審査会長、京都市第一行政不服審査会委員、日本消費者法学会理事ほか。

●歌舞伎の世界へ

中村扇雀一門 中村扇十郎
宮脇 ばく (99期)

筆者近影

2023年11月、私は中村扇十郎という名で、平成中村座小倉城公演の舞台に立ちます。

歌舞伎に興味を持ったのは中学生の頃。テレビ等でただ観ているだけで、まさか自分が歌舞伎役者になろうとは思っていませんでした。

ここに到るまでには様々な出会いがありました。「九州出囃子の会」を率いる高崎公夫さん。我が母校東筑の先輩で、母の知人でもあった高崎さんとの出会いが総ての始まりでした。高崎

平成中村座大阪城 打上げ(2015年11月)
上から中村扇雀、中村虎之介、宮脇ばく

さんを通じて、落語作家で歌舞伎にも造詣の深い小佐田定雄さん、くまざわあかねさんとの縁も広がりました。そんな中、私の姉の芝居仲間の紹介

で、坂東玉三郎さんの博多座公演に出演する機会を頂きました。この体験の影響は大きく、サラリーマンを生業としながら、次第に歌舞伎役者への憧れが湧き、日本舞踊を習い始めたのです。

私が師事した日本舞踊の師匠は、勝美藤乃さんという方です。藤乃さんのご子息は歌舞伎役者で、中村扇雀一門の中村かなめさん、後に私の兄弟子となる方です。

2015年、かなめさんの紹介により、中村扇雀さんの弟子になりました。

2019年に初めて小倉城で平成中村座が開演され、その舞台にも立たせて頂きました。地元での公演は、所縁の方々に見て頂く格別なものとなりました。

今年11月の小倉での公演で、皆様とお会いできることを楽しみにしております。



小倉城公演QR



国立劇場 力著 (2023年6月)

宮脇 ばく氏プロフィール

水巻南中学校出身。

立役・女方。中村扇雀一門。

1982年生まれ。

2015年6月中村扇雀に入門し、

12月南座『河庄』の町人の男で中村

扇十郎を名のり初舞台。

部活動OB会
だより

東筑には現在、様々な部活動がありますが、活発に活動されている部活動のOB会も多くあります。そのようなOB会からの投稿を紹介していきます。

吹奏楽部OB会

「コロナ禍を乗り越えて」

2020年頃より始まった新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、OB会活動はおろか世界中で多くの行動が制限されるなど、我々の生活にかなりの大打撃を与えた結果となっていました。

そのような中でも我々吹奏楽部OB会では同窓会で皆様に校歌をお届けするためにオンライン演奏等で工夫を凝らしながらやってまいりました。

それでもやはり実際の会場でリアルに同窓生の歌声と共に演奏できる迫力は、何にも代え難いものがあります。

我々吹奏楽部としても同窓会で再びリアルな演奏ができる日が来るのを心待ちにしてました。

そして2023年6月、実に4年ぶりにその日はやってきました。

さらに今年度から会場もあらたにクラウンパレス北九州で開催となり、以前の会場に比べてステージと観客席との距離がより近くなり、緊張感と一体感を同時に感じました。

校歌を演奏することができ、皆様の合唱と共に同窓会を締めくくることができ、閉会の後ステージを降りたときには、その場にいた方々からたくさんの方々の拍手を

いただいた時には、恥ずかしさも少々ありましたがそれ以上に嬉しさの方が数倍勝っていました。



校歌演奏2023

このような機会を再び設けていただいた当番期や執行部の方々、そして校歌演奏の本当の主役でありいつもリードしていただいている応援部OBの皆様には本当に感謝の気持ちしかありません。

また来年も、そしてその先も校歌演奏ができるのを楽しみにしています。

事務局長 本山武浩 (87期) 記



剣道部OB会

剣道部OB会新体制スタート

令和5年1月の総会でご承認いただき、新たに剣道部OB会役員の新体制がスタートしました。前会長である故浜辺先輩(82期)の遺志を引き継ぎ、役員一同、現役生とOB会の更なる発展のために尽くして参りますのでよろしく願います。

令和元年末から始まったコロナ禍には、大声で発声し、体の密着も多い剣道は他のスポーツにも増して影響を受け、毎年1月に開催してきたOB参加による伝統の初稽古会も令和2年から休止状態でした。しかし、本年は、感染拡大の鈍化と、何よりも学校側のご理解があり、1月3日、ようやく開催することができました。



剣道部OB会総会(2023年1月)

現役生と直接、剣を交え、声を掛け、激励できたことは、やはり何にも増して嬉しいものでした。引き続き道場で

総会も開催することができましたが、残念ながら恒例の懇親会は見送りとなりましたので、来年は必ず、初稽古から総会、懇親会までセットで開催し、剣だけでなく、杯も酌み交わしたいと願っています。

さて、3年生にとって集大成となる、玉竜旗高校剣道大会、最近福岡市東区昭葉の福岡市総合体育館で開催されていますが、我々OBも「玉竜旗」と聞く度、現役時代を思い出しのスタルジーに浸りつつ、OB会としてできる限りの応援をさせていただいております。剣道人口が減少し、少ない部員の中で切磋琢磨し頑張っている現役生を見るにつけ、我々も活力をもらっています。



谷口先生に見守られながら

コロナ禍も明けつつあります。これまで足が遠のいていたOBの皆さん、令和2年8月に改修され、凛々しく美しくなった道場にどうぞ足をお運び下さい。

会長 岩見祐介(86期) 記



ボート部OB・OG会

2020年春から3年間続いたコロナ禍は今年5月の5類移行で一応の区切りが付き、ボート競技においても様々な制限が解除されてほぼ日常が戻ってきました。

この3年間はコロナが拡大する度に、部活動の休止や練習場所の三菱瀬板艇庫の一時閉鎖などにより練習中断を強いられましたが、部員たちはこうした困難を乗り越え、全国レベルで優秀な成績を収めています。

まず、2021年春の全国高校選抜大会では女子シングルスカル(1人乗り)が2位、夏の全国高校総体(インターハイ)では男子クォドルプル(4人乗り)が5位に入賞しました。

2022年は、女子ダブルスカル(2人乗り)が夏のインターハイで5位、国民体育大会で2位に入賞しました。

そして今年は、女子シングルスカルが春の全国高校選抜大会で東筑ボート部の初の全国優勝を果たし、夏のインターハイでも3位に入賞し、インターハイで初のメダルを獲得しました。

近年はコロナ禍や入学定員削減の影響で新人部員が減少傾向にありましたが、このような活躍があつてか、今年は1年生が10名以上入部して、今後がまた楽しみになってきました。

さて、本会の活動状況ですが、コロナ禍に区切りが付いたことから徐々に活動を再開しています。

今年7月にはボート部保護者会主催のインターハイ壮行会に本会が招待されたので、事務局長や幹事など4名のOB・OGが本会を代表して出席し、激励の言葉とともに遠征支援金を贈呈させていただきました。

恒例行事として年末に開催していた総会・懇親会については、今年は4年ぶりに対面での開催を予定しており、多くのOB・OGに集まっていただき、現役部員に負けずに母校ボート部を盛り上げていきたいと思っています。



3年生部員とOB・OGでのインターハイ壮行会(2023年7月23日)

なお、本会では会員の把握を進めていますので、この紙面で本会の存在を知ったOB・OGがいましたら、ぜひ一報ください。

連絡先: trc alumni.1984@gmail.com

副会長兼事務局長 新町充人(86期) 記

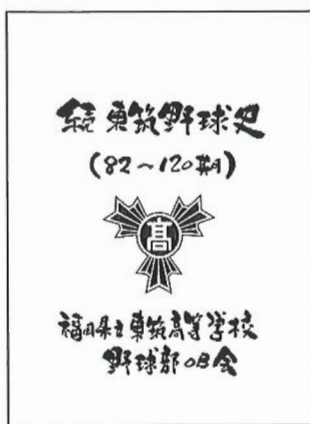
野球部OB会

『続東筑野球史』(82期〜120期)の発行

野球部OB会では、令和5年2月に野球部創部120周年を記念し、明治35年(1期)から昭和57年(81期)までの活動記録として刊行された『東筑野球史』の続編として、昭和58年(82期)から令和3年(120期)までの各期の戦績

やエピソードをまとめた『続 東筑野球史』を刊行しました。

この『続 東筑野球史』は、前田義信(61期)前会長(現顧問)の野球部の歴史をつなぎ、後世に残すという強い思いを受け、野球部OBが一つになつてまとめたものです。編纂に当たっては、令和元年に部史編集委員会を立ち上げ、各期の幹事に原稿執筆を依頼するとともに、野球部後援会顧問の増本傳枝先生をはじめ、多くの方々から、当時の記録や写真等の資料を提供いただきました。改めて深く感謝申し上げます。コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、発刊が予定より2年ほど遅れましたが、野球部の歴史120年をつなぐものとして、『東筑野球史』とともに、貴重な想い出、そして、歴史的な資料として残っていくものと確信しています。



『続 東筑野球史』表紙

なお、7月に野球部OB会のホームページ (tochiku-baseball-ob.com) を開設しました。この夏、県大会決勝までの全試合の様子等について情報を発信しました。今後も、OB会の活動とともに、野球部の活躍についてもお知らせしていきたいと考えています。

会長 太田清治(77期) 記

ラグビー部OB会

フイフティンクラブの復活と「つくし亭」

2ヶ月ごとに開催する東筑ラグビーOB会フイフティンクラブ(以後15クラブ)はラグビー部OB・OGの定例会で、時には、顧問の先生方や保護者の方との懇親会や幹事会としても開催してきました。しかし、令和2年以降はコロナ禍のため開催することができず、OBとして大変残念に思っておりました。

15クラブの開催場所は、OB会の奥野耕造先輩(66期)が経営する堀川沿いの「つくし亭」を利用させていただきました。金額がリーズナブルで、何よりも気兼ねなく1階のテーブル席を独占してラグビー談義に花を咲かせることができ、毎回最高の時間でした。

それから3年、コロナも収まり、敷田寿則OB会会長(75期)が15クラブの開催を呼びかけ、令和5年6月16日に再開することが出来ました。念願の15クラブの復活です。

当日は14名のOBが集結し、東筑ラグビー部現役諸君の活躍についても語り合いました。東筑ラグビー部は現在3年生が3名と大変少ないチームで飛び抜けた選手はいませんが、総勢24名でひたむきに頑張ることが出来るチームに仕上がっているそうです。15クラブは、東筑ラグビー部の活躍を陰日向なく常に全力で応援しています。

一方、この3年間で大きく変わったこともありました。それは、折尾駅周辺の再開発による「つくし亭」の移転です。「つくし亭」は「パブつくし亭」として折尾1-14-34 2Fに移転し、この6月にオープンしました。復活し

た15クラブも、「パブつくし亭」のオープンに併せて開催することが出来ました。これからは15クラブは、「パブつくし亭」に集い、OB・OGの懇親会を深めながら東筑ラグビー部の支援を行っていきます。



15クラブ復活の日(パブつくし亭 2023年6月16日)

結びになります。東筑ラグビー部OB会として、現在日本代表で活躍している中野将吾選手(114期)、吉村乙華選手(118期)を応援しています。

中野選手は、フランスワールドカップの日本代表に選出されていましたが、怪我により帰国を余儀なくされました。怪我を癒した中野選手のこれからの活躍を期待しています。また、吉村選手は、女子ラグビー日本代表として、2021年のヨーロッパカップや2022年10月のワールドカップニュージランド大会で大活躍しました。皆様方からもぜひ大きなご声援を何とぞよろしくお願い申し上げます。

橋本淳生(76期) 記

応援部OB会

応援部OB会は、昭和53年夏の甲子園出場を機に設立され、主に現役応援部員の支援を行っています。当会の今年一番の活動といえば、第105回全国高等学校野球選手権記念福岡大会での応援サポートです。その紹介をさせていただきます。

野球の試合における応援部員の役割は、演舞台からの全体指揮、スタンドの観客のインスパイア、太鼓を叩く、団旗を上げる、歌詞や選手名のボードを掲げるなど多岐にわたります。しかしながら、母校応援部はコロナの影響等もあって近年部員数が減少し、今年の夏は3年生1名、2年生1名、1年生3名の5名体制でした。さらに、1年生は入部して約3か月、まだ十分な



決勝戦の試合後、現役応援部員を囲んで

戦力として見込めません。

こうした状況を踏まえ、応援部OB会では例年以上に積極的な現場サポートをさせてもらいました。大学生など若手を中心に、66期から121期までのOBが毎試合代わる代わる集結し、声出しの率先、観客席の配置誘導、機材の設営等から、太鼓、団旗まで。私も現役以来、約30年ぶりに太鼓を叩きました。

その甲斐あってか、野球部は3回戦でシード北筑に競り勝ち、5回戦で優勝候補の西日本短大付をコールドで退け、決勝まで勝ち上がりしました。最後は惜しくも九国大付に敗れましたが、それでも立派な準優勝。スタンドが一丸となった結果だと誇らしく思います。

応援部は今年で創部70年です。来年の夏に周年式典を計画しています。全国各地にいらつしやるOBの皆様、一緒に声高らかに校歌を歌えることを楽しみにしております。

事務局長 金岡 健(91期) 記

理化部地学班OB会(野島会)

「東筑節」～青春の記念碑～

三宅正輝(71期) 記

理化部地学班では当時「東筑節」を事あるごとに、ギター伴奏で歌っていました。いわゆる部歌のようなものでした。原詞は69期伊勢名先輩? 歌詞アレンジ、作曲は69期の宗清・五島・高崎先輩(地学班OB)です。

昨年、当時のみんなで思い出しながら復元してみました。コード推定は71期の二宮君(地学班OB)です。

私たちの青春の記念碑です。ご紹介い

たします。(写真1)

理化部地学班OB会(当時のクラブ顧問にちなんで野島会)は、毎年住所録とコメント集を作っています。(72期近田君に大変お世話になり出来上がっています)(写真2)

最近の話としては、69期 酒井先輩(京都大学名誉教授)が長年のヒマラヤ研究の集大成とも言えるべき、大著を上梓されました。(写真3) 内容は私にはとても難しいですが、写真や図も多く酒井先輩の意気込みが伝わってきました。

コメント集 写真 2023 年名簿

東筑高校 理化部 地学班 OB 会 野島会

【写真2】 毎年発行の住所録とコメント集

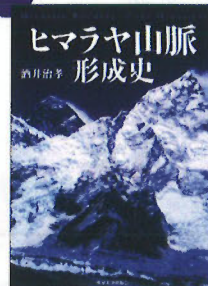
東京大学出版会 3月新刊 著者割引販売のご案内

ヒマラヤ山脈 形成史

酒井 治孝 — [著]
京都大学 名誉教授

ISBN978-4-13-060768-1 / B5判 / 234頁 / 7,920円(税込)

現在も上昇を続けている世界の屋根、ヒマラヤ山脈の誕生と成長のプロセスとメカニズムの謎は、どこまで解明されたのだろうか? 大陸衝突型造山帯ヒマラヤの最新の地球科学的研究成果を、現地調査1000日を超えるヒマラヤ研究の第一人者が紹介する。カラー口絵14頁入り。



【写真3】 酒井先輩のヒマラヤ学の集大成



【写真1】 昭和51年(47年前)のOB忘年会(近田君提供)

東 筑 節

C ここは北九州の A_m ちよつとはずれ
F 流れ流れて G₇ 遠賀川
C 着いたところが F 堀川で
G₇ 学館越しにちよいと見える C (注1)
C 雨が漏ります A_m 天井から
F 風も負けずに G₇ 破れ窓
C 天気の良い日にや F お天道様が
G₇ カーテン無いのでまぶしいよ C

F あゝあ C やんなっちゃう
F あゝあ G₇ やんなっちゃう
C 名門東筑 A_m 万歳東筑 G₇ ちびしいね C

恋愛の道は接続詞
三角関係コサインで
アツアツラブレター三段論法
だのに成績やモル降下

○ちゃん、△ちゃん、▲ちゃん
▽ちゃん、▼ちゃん、□ちゃん
それに◇ちゃん三年過(注2)
どれもみんなまんまんちゃん(注3)
繰り返し

明日はいよいよ新番付
上の横綱変わりやせぬ
わたしや十両の流れ者
どうせわたしや日陰者

1年の時は O 大で
2年の時は △ 大で
3年になつたら × × 大
どれもみんなずつこけちゃん(注3)
繰り返し

大学目指して 入学して
席次は1番になつたけど
世間知らずに生きていく
勉強気質(がたき)の俺は馬鹿

大学合格するまでは
一心に学べと云われたが
俺たちや今が欲しいのよ
今の喜びが欲しいのよ
繰り返し

(注1) 当時、東筑学館という予備校が併設されていました。行く人が多く東筑はさながら「4年制」?!の様相を呈していました。

(注2) 女性名が入ります。

(注3) 志望校が易しくなっています。具体名だった歌詞を改変しています。

各地区東筑会だより

東京東筑会

東京東筑会恒例の新人歓迎
BBQ大会を盛大に開催しました！

5月28日(日)さわやかな風薫り好天に恵まれた都立葛西臨海公園バーベキュー広場において、恒例の東京東筑会主催の新人歓迎BBQ大会を盛大に開催致しました。

関東の大学に進学し勉学に励む大学生を歓迎激励するため、就活を控えた大学生が諸先輩との交流機会を提供するため、就職した社会人の応援のため、当番期に散々はいやで白い目で見ていた家族へ罪滅ぼしの機会提供のため(「家族帯同参加を歓迎」、秋に懇親会を控えた当番期が結束や当日の運営を試す機会提供のため、新人歓迎BBQ大会は2012年度より開催しています。年会費納入前提で、学生無料、社会人10期以下2,500円、109期以上3,500円、帯同家族1,000円、小学生以下無料とする参加費と若干の東京東筑会補助で、資機材レンタル、食材費用等を賄うノウハウを蓄積済みであり、全てが手作りの歓迎会なのです。今年は121期、116期の大学生9名、117期、65期の社会人50名、帯同家族11名、総勢70名となり、おいしいお肉とお飲み物をエンジョイし、タテ・ヨコ・ナメの親睦を深めることが出来ました。70名分の食材調達(21kgのお肉の量は凄いです)と下ごしらえはそれなりに大変ではありますが、皆さんにひと時を楽しんで頂けることを思うと全く苦にならないのです。



東京東筑会新人歓迎BBQ大会
都立葛西臨海公園バーベキュー広場(2023年5月28日)

来年度も同じ頃に開催します。皆様、また楽しいひと時を過ごしましょう！尚、これは秘密ですが、東京東筑会の会員でなくても参加費+お土産ご持参下されば参加OKにさせていただきます。ここだけの話です。

幹事長 原田耕太郎(81期) 記

東海東筑会

令和5年4月16日(日)に、平成31年4月21日以来実に4年振りに、対面での総会・懇親会を開催いたしました。今回は趣向を凝らし、「カーデン」での総会と「愛知牧場」での昼食懇親会の2部構成としました。東筑会の深田高一会長を始め、本部当番期92期3名、関西東筑会当番期88期1名を含む20名を超える参加者が集い、世代を超えて交流を深めました。総会では78期永津響子様と生徒さんの加茂真理子様のピアノ連弾コンサート

を実施し、美しい音色に酔いしれました。総会の締めは恒例の校歌斉唱で、今回は関東及び関西から吹奏楽部OB・OGが校歌演奏にかけつけて下さいました。昼食懇談会は愛知牧場のバーベキューガーデンで、和気あいあいとした時間を過ごしました。



愛知牧場カーデンでの総会
(2023年4月16日)

今年度より、6年間東海東筑会会長としてご尽力いただいた60期の武藤十平会長に変わり、72期の土橋繁樹新会長となり、新しい体制でのスタートとなりました。本会は従前より、長く当地に在住されている方、転勤で東海地区に赴任経験された方など「当地に所縁のある東筑卒業生とそのご家族の交流の場」として、多くの皆様にご参加頂いております。ここ数年はコロナ禍でイベントの開催を控えておりましたが、徐々にイベントを再開し、交流の機会を提供し

たいと考えております。
東筑会のますますの発展を祈念しております。

事務局 服部悦子(85期) 記

関西東筑会

5月20日(土)、2023年度関西東筑会総会・懇親会が、JR京都駅前にある「TKPガーデンシティ京都タワーホテル」で開催されました。コロナの影響で4年ぶりの開催でしたが、160名超の方にご参加いただき盛大な会となりました。

林早苗会長(71期)の挨拶に続き、東筑高校校長の小川昇二郎先生(81期)、本部東筑会副幹事長の小野裕和様(81期)、東京東筑会幹事長の原田耕太郎様(81期)、東海東筑会会長の土橋繁樹様(72期)のご来賓の皆様よりご挨拶をいただいた後、相談役の荒金憲治先輩(63期)の乾杯のご発声で開宴となりました。

今回は4年ぶりの開催なので学生の方の参加は諦めていたのですが、様々なルートで情報が伝わり3名の学生さんが、参加してくれました。コロナによる制約の中を過ごしてきた皆さんでしたが、自身の近況とこれからの学生生活の目標について、力強く語ってくれました。

恒例のお楽しみコーナーでは、今年のスローガンである「校歌を楽しむ」に沿って二つのイベントを行いました。一つ目は、音楽部OB・OGに希望者を加えたコーラス隊による「校歌1番(混声4部)」の合唱です。綺麗な歌声が会場に響き渡り、歌唱後のコーラス隊の皆さんへの長く大きな拍手がたいへん印象に残りました。二つ目は、コー



コーラス隊による校歌の混声4部合唱
TKガーデンシティ京都タワーホテル(2023年5月20日)

ラス隊の隊長であり、音楽部OBの島田衛さん(88期)による「千の風になつて」のアカペラ独唱でした。会場に響くバスの歌声に、皆さんしつかりと耳を傾けていただき、こちらも歌唱後に盛大な拍手が送られました。もう一つ、折尾の最近の様子をまとめた「ブラオリオ」を上映し、現在の母校周辺様子をお届けしました。

今年もクライマックスは校歌3番までの斉唱です。応援部OBの富永純二先輩(66期)から校歌の歌詞について詳しい説明をいただいた後、88期応援団長、山浦健さんの力強い指揮のもと、長い校歌を3番まで歌い切りました。

校歌斉唱後、当番期88期から来年度当番期89期へ引き継ぎが行われ、百道貴子副会長(79期)から閉会のお言葉をいただき、閉会となりました。

(当番期88期代表 中司輝清・土肥晶子)
事務局長 河部伸治(86期) 記

広島東筑会

第37回広島東筑会を令和4年11月27日(日)に、毎年お世話になってる広島ガーデンパレスにて開催しました。当日は会場には16名、リモートで1名ご出席くださいました。北九州から当番期(92期)会長の日高さん、山縣さんをはじめ、90期小野山さん、91期金岡さんが、また、兵庫県から84期山本さんがご出席くださいました。



広島東筑会



第37回広島東筑会
広島ガーデンパレス(2022年11月27日)

今回の広島東筑会では、皆さんにとつての2022年の1年間を象徴する漢字(いわゆる今年の漢字)を色紙に書いていただき、近況報告を兼ねて披露していただきました。皆さん一人一人の出来事や思いに触れることができ、和やかな一時を過ごすことができました。会長・田中の選んだ漢字は「走」。新たな仕事・役職が次々と舞い

込み、趣味として合戦では久しぶりに全国大会に出場するなど休む間もなく走り続けた1年でした。毎年恒例のカープアワーでは、カープ二軍監督を務められている84期高さんと97期井生さんよりカープに懸ける想いを語ってくださいました。そして、しばらくお休みとなっていたミュージックアワーが復活しました。

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し、様々な行事が感染拡大前と同様になりつつあります。今年11月開催予定の次回の広島東筑会においても、同窓生の皆様との久しぶりの再会を楽しめるよう準備を進めて参ります。また、広島東筑会では、LINE公式アカウントやX(旧Twitter)アカウントを開設し、情報発信を進めております。広島在住の有無に限らず、同窓生の皆様のフォロー歓迎いたします。コロナ禍で失われた絆を取り戻すためできることを尽くして参ります。皆様のご理解とお力添えの程よろしくお願い申し上げます。

会長 田中健路(90期) 記

ふくおか東筑会

ふくおか東筑会は、牛嶋俊康会長(58期)を始めとする執行部の皆様が20年以上もの長きにわたりご尽力いただいております。令和5年度より、執行部が一新することになりました。

前執行部の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。皆様のご努力により、ふくおか東筑会は、多くの同窓生の皆様に支えられ、充実した活動を継続することができています。

新執行部は、前執行部から引き継いだ伝統を守りつつも、前執行部のご功

績に頼ることなく、柔軟性と創造性を持ち、変化する時代に対応しながら、新たなふくおか東筑会を築いていきたいと考えています。

新執行部としての新たな目標は次の3つです。

①ふくおか東筑会の活動をより多くの同窓生の皆様に知ってもらい、会員の増大を図る。

②会員相互の交流をより広く、より深くすることで、同窓生のネットワークを活性化させる。

③会員がふくおか東筑会の活動に積極的に参加したいと思っていただけのような活動を行う。

「会員同士の交流を促進することは、地域社会への貢献にもつながる」という情熱と前進を持ち続け、ふくおか東筑会が一層有意義な存在となるよう努め、皆様に愛される同窓会を目指す所存です。



新生特別ふくおか東筑会
ビエトロ本店セントラレー(2023年5月27日)
右側手前 別府謙次新会長(83期)

今後とも、ふくおか東筑会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ふくおか東筑会 新執行部一同
事務局長 岩熊豊和(89期) 記

岡垣東筑会



4年ぶりの岡垣東筑会総会懇親会
野々庵(2023年5月27日)

令和5年度(第48回)総会・懇親会を5月27日(土)「野々庵」にて開催いたしました。コロナ禍の中、令和2、3、4年度の3年間は中止せざるを得ず、4年ぶりの開催でした。開催するか、今年も見送るか、悩みながら昨年の11月から役員会で検討しました。当時はコロナの状況も安定せず、判断は難しかったのですが、東筑会総会・懇親会が多少の人数制限はあるものの開催に向け準備中との情報、また、5月8日から5類へ移行予定の報道に触れ、その日以降の日程なら開催可能では?と決断した次第です。ただし、例年ご出席いただいております東筑会

長、東筑高校校長、近隣東筑会会長の方々への来賓案内は、諸般の事情を考慮し控えさせていただきます。

当日は、当番期(92期)の日高慶太郎会長を始め、5名の皆様の協力を得まして総勢46名での開催でした。山田貴志議長(当会会則で、当番期代表役員がその年の副会長に就任し、慣例で議長を務めることになっている)の進行のもと、令和4年度事業報告、決算・監査報告、令和5年度役員改選(当番期副会長の変更のみ)、事業計画、予算案等すべての議案について承認をいただき、総会は無事終了しました。引き続きの懇親会の冒頭、刀根博愛氏(当会顧問・39期)と深田フミヨさん(折尾高女18期)のお二人が、めでたく百寿を迎えられたことが紹介され、ご出席の刀根顧問に対し祝意を表するとともに、ささやかながら花束の贈呈をいたしました。(写真)



百寿を迎えられた刀根博愛氏(39期)

太田強顧問(58期)の乾杯のご発声で始まった懇親会では、4年ぶりの再会で3年間のブランクを取り戻すかのように、あちらこちらで会話が弾み、終始和やかな雰囲気の中、楽しいひと時を過ごしていただきました。

中間東筑会

4年ぶりの開催!

中間東筑会総会・懇親会!

ご参加の会員の皆様には喜んでいただけたものと自負しております。最後に当番期の皆さんのリードで校歌を大合唱、日南誠相談役(50期)の音頭による万歳三唱の後、来年も元気で再会出来ることを念じて、幕を閉じました。

会長 占部義和(67期) 記



4年ぶりの中間東筑会総会・懇親会
なかもハーモニーホール(2023年4月22日)

令和5年4月22日土曜日になかまハーモニーホールにて4年ぶりとなる『中間東筑会総会・懇親会』を開催いたしました。コロナウイルス感染症の影響により幾度となく延期されての開催でしたので、役員、関係者の喜びはひとしおであったのと同時に、「ようやく開催できた」という安堵感もありました。

しかしながら、コロナ感染症が第5類への移行する直前であったため、学校関係者や同窓会関係者など、来賓をお招きしない形での開催となり、飲食に関しても一人一つずつのお弁当とお飲み物を配布し、常に換気に配慮するなど感染対策には万全を期して開催しました。総会においては、決算や予算、役員変更などの提案議事は全てご承認いただき、船津革会長(63期)が引き続き会長として中間東筑会をけん引していただきます。懇親会では久々に会う同窓生、先輩、後輩との会話が花が咲き、4年間の空白期間を埋めるかのような大変盛り上がりになった場となりました。当番期の日高会長をはじめとする92期の多くの方々の応援もいただき、無事、盛会のうちに終えることができました。ありがとうございました。

フレンドリー鞍手町東筑会

終わってこない新型コロナ

今回の総会は2年後の令和7年4月26日土曜日に開催予定です。次こそは多くの来賓をお呼びして、今年以上に盛大に開催したいと思えます。皆様、その時にまた元気なお姿でお会いしましょう!!

事務局長 八木秀和(96期) 記

今年もまだまだ続きそうです。新型コロナの第9波、この波がピークを迎えたのち沈静化に向かうまでにはまだ数ヶ月を必要とするでしょう。こういった中で鞍手町東筑会では、今年も12頁の会報を発行しました。ここ数年の同窓会活動はこの会報の発行だけになってしまっています。新型コロナウイルスの感染拡大がこんな状況では仕方のないことでしょう。

麻生千香子さん(59期)の記事、『六ヶ

岳の花々との出会い』は注目でした。麻生さんは今も毎週のように六ヶ岳に足を運んで植物観察を続けておられます。折しも連続朝ドラで牧野富太郎が話題になっています。麻生さんとは六ヶ岳へしばしば一緒するのですが道すがらあれこれ目につく野草を解説してもらっています。今まで気づかずにいた数々の草花を知る機会を頂きました。4頁の記事の中に出てくる花の名前は実に59種もあります。



遠賀川から眺める六ヶ岳全景と今年の春に咲いたキエビネ

麻生さんのように以前と変わらず野外活動が続いている方がおられる一方

で、新型コロナウイルスの行動制限によって日常生活が大きく変わってしまった方も多いと思います。鞍手町内で高齢者の認知症予防のためのボランティア活動が続いている方のお話ですと、ここ数年で多くの高齢者の身体機能、認知機能が低下してしまっているそうです。体を動かし、人との交流の場を持つことの大切さを痛感します。少しでも早く新型コロナウイルスが沈静化し同窓会活動が復活できるよう願うばかりです。

事務局長 梶栗浩二(69期) 記

北九州くきのうみ東筑会

第31回総会・懇親会にむけて

平成2年11月に「おりお東筑会」として産声を上げて、平成27年11月の総会にて、「北九州くきのうみ東筑会」に名称を変更しました。毎年11月に総会・懇親会を開催しています。最近では「東筑エール」、頑張っている同窓生を応援しようと、10分間で夢を語ってもらう企画を取り入れ、発表者には自分を見つめなおし、夢をあきらめないことを確認し、発表をしてもらいます。我々は、10分に詰まった思いを受け止め、皆で応援をする、応援の輪を広げていく、エールです。

令和2年に設立三十周年を迎えることができました。本来なら三十周年を記念する総会・懇親会を開催してお祝いするところですが、新型コロナウイルスのまん延という事態に遭遇し、数年にわたり、何度も検討を重ねてきましたが、開催を断念せざるを得ませんでした。

しかしながら、3月に、三十周年を記念する会報を完成させ、お届けす

ることができました。記念誌では、「北九州くきのうみ東筑会のあゆみ」や「生まれ変わる折尾のいま」特集で、折尾駅から東筑高校までのリアル通学路を写真で紹介したりしています。

第31回総会・懇親会を11月18日17時から、アートクレフクラブ(八幡西区瀬板2-4-7)予定しております。皆様とお会いできることを楽しみにしております。

今後とも、皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。

事務局 伊藤泰昭(88期) 記

宗像東筑会

このたび4月から宗像東筑会会長を拝命しました76期柳和宏と申します。初代原会長、二代高嶋会長に続き、三代目となります。先代のお二方の足許にも及ばない若輩者ですが、役員・会員の皆様のご協力のもと、精いっぱい会長職を務めたいと思います。

さて、最大のイベントである総会・懇親会ですが、宗像東筑会では毎年4月の第二日曜日に開催しております。当総会・懇親会は近隣東筑会の中では年度最初の開催になるため、各東筑会の動向を左右する重要な意味合いを担っていると感じております。

新型コロナウイルスの影響で、令和2年度は開催案内を出したものの、直前に中止を決定しました。その後令和3年度・令和5年度は会員の皆様の安全・安心を最優先すべきと判断し、早めに中止を決定しました。特に恒例の講演をお願いしておりました講師の皆様には多大なご迷惑をお掛けしましたこと、改めてお詫び申し上げます。また、その中で年会費を納めていただいた

た皆様に深く感謝しております。

次に、新年度を迎え、件のコロナも5月8日には第5類へ移行し、従来の活動を再開しました。皮切りは5月14日に役員会を開催し、6月11日(日)に宗像市民交流まつりにバザー出店しました。秋には環境フェスタにも参加し、宗像通信の発行も進めていく予定です。

このように、地域に根差した東筑会となるよう活動していきたいと思っていますので今後ともよろしく願い申し上げます。

会長 柳 和宏(76期) 記

北海道東筑会

北海道東筑会は今年で11周年を迎えました。これもひとえにご支援いただいたいております東筑会歴代の会長や事務局のみなさま、そしてご賛同いただいた数多くの方々のお力添えのお蔭です。改めて感謝申し上げます。

この原稿を書いている7月の母校野球部が福岡県大会決勝戦で惜敗した報道は、遠く九州の母校の活躍に思いを馳せ、改めて卒業生の一員として、自分を鼓舞するきっかけを与えてくれました。

さて、猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症が一段落したことから、今年度の総会・懇親会は、思い切って3年ぶりにオンライン開催から対面式での開催といたしました。幸いご賛同をいただき、去る5月27日の総会・懇親会には64期から85期までの5名に加えて、福岡から深田高一東筑会会長、そして当番期92期からは地元在住の加藤淳様にお越しいただき、7名が集いました。

相変わらず少人数の集まりではあります。参加者が世代を超えて、それぞれの近況や日常を語り合い、アットホームな雰囲気なところは変わりなく、初めての方でも参加しやすいことが特長です。今年は、8月に札幌大通公園でビール会、年末には忘年会を開催する予定です。お近くの方は奮ってご参加下さい。

昨今の猛暑や豪雨等の天候不順による災害は北海道でも例外ではなく、また変化の激しいこの世の中で、これからの私たちの生き方が広範な視点から問われる場面が増えてきていると感じますが、母校で学び研鑽した3年間の礎にそれぞれの場所で活躍されている同窓のみなさまに改めて敬意を表する次第です。



総会・懇親会開催後に北海道大学構内

北海道東筑会はこれからも北海道在住の東筑高校卒業生の交流がさらに深まるように微力ながら貢献できればと思います。

事務局長 鈴木淳志(85期) 記

各期だより

39期だより

39期全員満百歳を迎う!!! 250人入学し、230人卒業する。今は誰も居ない。39期の会は「まぼろし」の会となった。天国との対話はむつかしい!! 私が39期の記事を書くのは時間の問題となった。

39期は大正11年から大正12年生まれで、終戦を22歳で迎えた。大多数が戦傷死、特に終戦直前に陸海軍特別攻撃隊で壮烈な玉砕をされた。その中には、旗生良景(京都大一年生)本庄繁、友枝幹太郎の三氏がおられる。冷牟田善秀は沖繩陸上戦で米軍の艦

砲射撃で即戦死、中村徳平はビルマで苦戦死、私も右足大負傷で、現在、歩行器で生活中。只今、百歳と六ヶ月生きている。今、連絡のとれる39期は誰も居ない。写真は、39期の卒寿の最後のものである。



卒寿 東筑39期の会
ホテルパールシティ黒崎(2011年9月13日)

別項として此処に東筑高校を支えておられる、元東筑高校校長 柴田晴光氏(70期)、今年退職された女性校長 松本真由美氏(79期)、今年、新任の小川昇二郎校長(81期)の3人の校長と、更に前東筑同窓会長で、元遠賀町長の高山和幸氏(56期)の4人の方々は全員、遠賀町出身者である。

更に、現在の東筑同窓会の会長は岡垣町出身の深田高一氏(62期)であり、奇しくも、私が岡垣中学校の教師時代の教え子です。

最後に、卒業生全員で母校生徒が世界に羽ばたく人材を育てて下さい。

(百歳 幹事 刀根博愛 記)

61期だより

3年ぶりのぶらり旅

恒例の有志による親睦旅行(ぶらり旅)がコロナ禍の為3年ぶりに行われた。今回で25回目となり、一泊二日の行程で4月21日(金)〜22日(土)、宿泊地は2度目となる筑後川温泉桑之屋。参加人員は男性14名女性6名の計20名。集合場所はいつもの水巻のカフェ子。

コース一日目は竹の子を出発して途中、「道の駅おとろ」(一億円トイレで有名)に立寄り、日田市の味噌醤油醸造元原次郎左衛門の工場見学。ここでは全国でもめずらしいラムネを製造している。虹色ラムネを始め、昔ながらのラムネを作りつつけている。

宿泊先の桑之屋到着。温泉に入り汗を流し疲れを取り、待ちに待った宴会に突入。料理に舌つづみを打ち、宴たけなわとなりカラオケ大会へと進む。日頃



温泉ぶらり旅
筑後川温泉(2023年4月22日)

歌わない人が案外うまかったり、皆の歌声が聞けてサプライズの連続でした。

帰りのコースは夜明けの里カメミツ(日田市)の見学。この会社はハチミツとスッポンが溶け合った健康食品の製造販売をしている会社で、みなさん健康と元気に心が有り、カメミツ(亀蜜)商品開発部の講義を熱心に聞いていました。ちくご手づくり村で昼食、小石原焼の見学、再度「道の駅おとろ」に寄り、最後の土産(買い忘れ)を買い込んで帰路につく。今回はコロナワクチン接種証明を提示すれば割引サービスが有り、みんな山程お土産を抱え、まるで買出しツアーの体でした。

最終日の4月22日(土)は、中間東筑会が中間ハーモニーホールで18時より開催され、中間出身の男性2人女性2人が出席した。

強行軍であったが、3年ぶりの25日目のぶらり旅でみんな大いに楽しんで満足したと思います。

最後にこのぶらり旅を毎回計画し、

御世話してくれている古賀正博君に感謝致します。

(井上孝之 記)

63期だより

東筑63期70人の喜寿旅行

2023年、コロナ感染者も少しずつ減少しつつある3月12日、私たち東筑高校63期生は1泊2日のバス旅行をしました。喜寿を祝つての同窓会を阿蘇のホテルでするためです。全国から70人の同期生が集まりました。



喜寿旅行 全国から70名
亀の井ホテル阿蘇(2023年3月12日)

博多駅に集合し、バスは一路阿蘇へ向かいます。バスの中では、東筑生ならだれでも懐かしい「東筑軒のかしわめし」の昼食をいただき、トイレ休憩をはさみながら、熊本地震で大きな被害を受けた阿蘇神社に到着しました。この日、阿蘇神社の楼門は工事途中でしたが、一般公開されている期間だったので、修復された楼門をしっかりと鑑賞できました。その後「亀の井ホテル阿蘇」に到着し、ひと風呂浴びて、いよいよ宴会開始です。物故者の黙祷のあと、乾杯から宴会は始まりました。久しぶり再会した友と、酒を酌み交わしながらの談笑。会場の各所で、楽しそうな話し声、笑い声。宴もたけなわになったころ、クラス別にステージに

65期だより

当番期が創る縁

我々65期生は今年で後期高齢者です。東筑高校を卒業すると46歳で同窓会の幹事を仰せつかります。私はまだ若い頃、高校の体育館や松柏園ホテルで行なっていた時から同期生数人と参加していました。そのうち、あの赤いタスキを受け取り、皆でお世話係をするのだと漠然と思っていました。

40歳の時、同期の中から当番期のことを考えようとの声が上がりました。東筑会に参加する人を増やしていきましました。44歳からはしっかりと役割分担が出来上がり、会議に次ぐ会議。

忘れられないことは、それまで、運営資金は会報に載せる広告で賄っていましたが、それがだめになったことです。自分達の期の中で出資者を募り、

上がり、自己紹介をし、参加者の確認をしました。最後に校歌を元応援部の指揮の下、高らかに歌いました。

二日目は、復興した新阿蘇大橋経由で柳川に向かいました。お堀巡りの船に乗船し、船頭さんの楽しいガイドでゆったりお堀巡りが出来ました。その後「お花」で名物「鰻のせいり蒸し」に舌鼓を打ち、お雛様や下げもんの鑑賞の後、バスは博多駅に向かいました。遠くは関東、関西から参加している友に別れを告げ、3年後の「傘寿の同期会」での再会を誓いました。

この会に参加できたことの喜び、この歳まで元気で生きたことの喜びを、改めて噛み締めた旅でした。

(井上敏子 記)

最小限に抑えた設備内容で皆様に恥ずかしくない会に作り上げました。

すべてが例年通りとは行かないので検討するにも熱が入り、喧々諤々...今ではよい思い出ですが、事務局に集まって会議を行った後、卓を囲んで話を続けることが同期の絆をしっかりと作ってくれました。

当番期後、毎年、同期会を続けています。

還暦を迎えた年には修学旅行のコースだった東京から富士五湖巡りをして思い出に浸りました。古希には大阪から神戸を旅しました。ほかにも長崎や熊本、鹿児島、など同期生とともに各地を旅した時間は心の宝です。

これも当番期で頑張ったおかげ。喜寿には何をやるうかと、今から楽しみです。

(65期同期会事務局 廣田貴子 記)

66期だより

久しぶりに同窓会で再会



東筑会懇親会(2023年)

新型コロナウイルスのまん延により、東筑高校同窓会も中止や会食無し形式での開催が続きました。令和5年の同窓会は普通通りの同期生が互い顔を会わせて会食できる形での開催ということで、皆に声かけしたところ、北九州地区から13人の同期生が参加してくれました。諸事情により出席はできないが、当番期を応援するというメンバーも3名ほどいました。今年から遠賀町東筑会の会長に同期の久保田進君が就任し、参加者に加わったことも嬉しい出来事でした。ただ、同窓会の案内状の返信によると、体調が優れないため参加できないと知らせて来た同期生も幾人かおり、我々も後期高齢者を目前にして、健康維持の大切さを自覚させられました。

久しぶりに会場で顔を会わせた後、折尾に移動し、同地区の再開発事業に



古希のお祝い リンドモール(2022年10月9日)

69期だより

(幹事 加来久幸 記)

よって、移転後新装開店した奥野耕造君の店「バブつくし亭」でさらに旧交を温めました。

一方、川越在住の坂田義勝君から、今年3月に関東地区の同期生に声かけして東京で同期会を開催したとの連絡がありました。14名ほど集まったと当日の様子が分かる写真も送られてきて、まだまだ元気な同期生がいることが分かり安心した次第です。

今年は、新型コロナウイルスにより中断していた「66期温泉同好会」を復活させて、11月に四国松山の道後温泉に集まる計画を立てています。

70期だより

(世話人 末吉信之 記)

69期では古希のお祝いを致しました。野球部OBでありゴルフで名高い荒井泰雅氏のお声掛けにより多くの同窓生のご参集を頂きました。女性も多くみえられて、和服を召された方もあり何だか良い具合でした。

例によって身の上話、病氣自慢、孫自慢などに平田龍司氏によるツツコミを交え笑いの絶えないひと時でした。

63期の方々はなんと70名以上の参加を得て阿蘇で喜寿をお祝いされたと同じです。我々も是非それにあやかりたいものです。

久しぶりの再会は元気印

4年ぶりの東筑同窓会のフル開催。対面での懇親会は本当に久しぶりです。会場のクラウンパレス北九州には、多くの東筑同窓が集まり、活況を呈していました。感染がまだ心配の中、70期は13人も参加してくれました。

みんな笑顔いっぱい再会を喜び合い、話が尽きませんでした。コロナ期間中の様々なこと、健康のこと等で話が盛り上がり、各種アルコールも一層美味しく感じました。

終了後は二次会へ。東筑会総会の後はいつもなら70期の八幡西区筒井町にあるイタリアンレストラン「香味屋」(同期の川端君経営)で盛り上がりつつありました。その日はあいにくの臨時休業日ということで、クラウンパレスから黒崎の「朝葉夕魚」へ直行。驚いたことに、店内はいろんな期の東筑同窓で満員、東筑会関係者の貸切り状態



フル開催の楽しい懇親会(ホテルクラウンパレス北九州(写真左)・朝葉夕魚(写真右) 2023年6月10日)



これからも益々健康で、お元気でお過ごしください。再会を楽しみにしています。

(青野元昭 記)

71期だより

やっぱり 対面はいいね!!

〜〜ズーム同窓会は第2木曜日開催へ〜〜

71期です。今年は東筑会懇親会に10名強。そのあとの71期同期会に20名以上の出席がありました。

東筑会もホテルクラウンパレス北九州(旧プリンスホテル)に会場を移して、3年ぶりの通常開催で今年は満員の盛況で、「やっぱり、対面がいいね!」と71期のテーブルも満員でした。



やっぱり 対面はいいね!! (黒崎某所 2023年6月10日)

総会の後、以前のように歩いて黒崎まで移動し71期会を開催しました。参加人数なんと20人以上!!大いににぎわいました。

開会のあいさつ、物故者への黙とう、母校の近況報告や東筑会総会・懇親会の様子を会長三宅が報告しました。まじかに迫った古希の記念行事として、沖縄旅行を検討中であると合わせて提案しました。

コロナが5類に移行したとはいえまだまだ予定は許しませんが、同期会でも「やっぱ、対面がいいね」の声が上がっていました。

ズームによるオンライン同窓会(しゃべくり会)は曜日を毎月第2木曜日の20:00からに変更しています。一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。

参加ご希望の71期の方は私のところまで、メールかFaxでご連絡ください。折り返しIDとパスコードをご連絡させていただきます。

メール: miyakem@cfnbnc.jp
FA X: 093-246-1181

(幹事 三宅正輝 記)

76期だより

新型コロナが5類に引き下げられ、76期も少しずつ集まりが増えてまいりました。

6月10日に開催されましたホテルクラウンパレス北九州での東筑会懇親会は県外からも同期が足を運び、二次会はライブハウスで演奏、歌で盛り上がりしました。

徐々に会社を引退する同期生も増えてきました、ゴルフの会なども活発に



ムーンレイク競手(2022年9月)

なってきました。幹事の柳くん、麻生くん、武谷くんが積極的に運営をしてくれているので有難いです。

私はコロナ禍になってからゴルフを始めましたが、同期の友人たちが温かく見守ってくれるので、楽しくコンペなどにも参加させていただいています。そろそろ仕事のゴルフからエンジョイゴルフへと考えていらつしやる76期がいまさら、是非一緒に。

それから、一昨年から騒がせいたしました76期の雑賀監督の映画「レッドシューズ」は、昨年12月に北九州で先行上映、今年2月から全国公開となり、東筑同窓生の皆様の応援のおかげをもちまして、想像以上に全国多くの方々にご覧になっていただきました。

特にユニテッドなまでは、12月から今年の3月まで公開というロングラン上映という偉業を達成。撮影前から上映終了まで、並々ならぬ皆様方のご協力を賜り、改めて心よりお礼申し上げます。



レッドシューズ全国公開
新宿ピカデリー(2023年2月)

映画の中で、「東筑高校」、「東筑高校76期」「東筑〇〇署」など、随所に高校の宣伝がされてるやないかー(笑)と、各方面から有難いご指摘もありました。

そして、雑賀監督の一つの狙いでもありました若戸大橋、関門海峡、旦過市場、折尾堀川など全国へ向けて北九州市の魅力アピールも、目的を達することができたのではないかと思います。

北九州第二弾の作品も準備段階に入っていると聞いていますので、皆様ぜひお楽しみに。

(柳本昭子 記)

81期だより

7月も下旬の或る日、小川校長より電話が鳴った。「甲子園への出場が決まりましたら寄付集めで奔走することとなる、故に恐らく東京へは行けなくなる。決まったわけではないので当面オフレコで頼む。」との内容。甲子園出場は是非とも成就して欲しい、校長には予定

通り学生引率で東京には来て欲しい、嗚呼、何と悩ましき事態かな、既に校長上京前提で全国の同期に「小川校長を囲む会@東京」の開催案内を発信し、極秘裏に恩師末松(旧姓)先生にも囲む会へのご参加を要請していたのです。甲子園出場が決まれば、校長を囲む会を取り止めてお祝いの会としようや!との同期助言もあったため、予定通り同期会の手配を進めることとしたものの、実はその裏では、出場に備えての東京東筑会での応援グッズ製作での納期問題に頭を抱えており心中は全く穏やかではなかったのであります。



小川校長を囲む会 恩師末松奈津子先生と共に

7月31日、初日の囲む会を品川で開催し同期15名が参集、2日目は8月1日に有楽町で開催し恩師末松先生と同期14名が参集しました。関東でも本当

に久し振りとなる同期会を、校長を囲んで連日連夜開催することが出来た次第です。参集頂いた皆様、残念ながら欠席の連絡を頂いた多くの皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。恩師末松先生には連日のご参加要請は出来なかつたため、初日に参集頂いた皆様からはお会い出来ず残念との声を頂きましたが、また、先生にもお声掛けして同期会を開催します。次回以降を是非ご期待下さい。

(原田耕太郎 記)

82期だより

私は現在東筑高校に国語担当、野球部部長として勤務しており、今年で21年目を迎えています。今夏は文字通りあと一歩甲子園には届きませんでした。が、今後も本校通算10回目の甲子園出場のため、また公立高校の希望を繋ぐためにも、現役の生徒とともに活動を続けます。酷暑の久留米市野球場まで応援に駆けつけていただき、有り難うございました。

今年の82期のニュースとしては、6月に本校の創立記念講演会において同期のみずほ信託銀行社長の梅田圭さんが「果てなき好奇心と健全に疑う心」と題して、全校生徒に向けて講演を行ったことが挙げられます。野球部主将として活躍した高校時代のことを交えながら、現在の高校生が今後身につけていかななくてはならないことなどを多くの経験に基づいて現役生(122、124期生)に語りかけました。そしてその一週間後、梅田さんはPayPayドームで行われた、ソフトバンク・DeNA戦において、本校野球部のユ

ニホーム姿で始球式を行い、見事ストライクを投げ込みました。その勇姿は広く報道されていますのでインターネットなどでも見る事ができます。

私たち82期は、コロナ禍を除けば東筑会総会の日と年末に同期会を開催し旧交を温めています。そして8年前の「50歳の就学旅行」に続き、2年後の「還暦での修学旅行」に向けて現在計画を進めています。卒業して40年の月日が流れましたが、東筑高校での縁が当番期の活動を大きな節目として、現在の生活を豊かなものにしていくと思っています。とを改めて「有り難く」感じています。

(山本哲也 記)

88期だより

関西東筑会当番期を終えて

2018年に北九州と東京の東筑会当番期を、同窓皆々様のおかげのもと無事盛大に終えた88期は、予定通り3年後に関西東筑会の当番期を迎えるつもりでいました。しかし世界的パンデミックの影響であらゆることが止まり、時計の針だけが徒らに3年という時間を刻みました。そしてパンデミックがとりあえずの落ち着きを見せた2023年5月20日、88期が当番期となり関西東筑会が実施されました。関西東筑会の名物は長い校歌を3番までフルコーラスで歌うことですが、88期応援団長の山浦健君が独りで見事に最後まで演舞を行い、最後にエールをきらせていただきました。当日、お越しをいただきました関西在住の同窓の皆様は、心より御礼申し上げます。

翌日は「大人の修学旅行」と題し、



大人の修学旅行
浄土宗総本山知恩院特別拝観記念(2023年5月21日)

111期だより



前回開催時の写真
リーガロイヤルホテル小倉(2017年1月)

7月27日、多くの卒業生が現地で、テレビの前で、SNSを使って、母校の野球部の応援をしていたのではないのでしょうか。コロナ禍において、多く

京都の浄土宗総本山知恩院に集合し、国宝の三門をはじめ、経蔵、御影堂などを、通常参拝では決して観ることができないところまで、1日かけて特別拝観させていただきました。若い頃は神社仏閣を前にしても素通りするだけでしたが、この年齢になると日本文化の奥深さに圧倒され、もつと日本の文化や伝統にふれたいと思う一日でした。同期とは偶然という名の必然的な不可思議なる集まりですが、同期だからこそこうして修学旅行を企画し、そして互いの人生の時間を共有することができます。88期はこれからお互いを支え合い、助け合いながら、人生という時間を積み重ねていきたいと思っています。

(幹事 柴田泰山 記)

の活動が制限されている現在ではあります。が、私たち111期が、2年生の時に、同じく決勝戦を全校応援した日のことを思い出しました。気が付けば卒業して10年が経過しました。10年経つてもなお、母校の様子が気になるのは、あの学び舎で、濃厚で充実した3年間を過ごしたおかげだと思っています。

さて、先ほど述べたように私たち111期は、卒業して10年が経過しました。「この期に久しぶりに集まろう。」と声を上げてくれた人がいて、本年の12月30日に同窓会を開催する予定です。全体での開催は、2017年1月以来の3回目です。前回は約120名に参加をしてもらいました(掲載写真)。今回はそれを超える人数が集まれば良いなと考えています。また、先生方にも声をおかけしようと計画中です。ので、ご覧の先生方は、予定に入れていただけると嬉しいですね。111期の皆さん、携わってくださった先生方、後日詳細を

連絡いたします。皆さんに会えるのを楽しみにしています。

最後に、東筑高校関係者の皆さまのご健康とご多幸をお祈りいたします。

(幹事 平崎翔太 記)

119期だより

夏が終わり、秋の涼しさを感じる季節となりましたが、どのように過ごしていますか？

コロナ禍のため心配されていた同期による成人式同期会も無事に開催することができ、約250名もの仲間たちと再会を果たすことができました。開催にあたり多くの仕事に携わっていただいた幹事、そして滞ることなく連絡・返答してくれた119期同期生全員にこの場を借りて感謝申し上げます。

さて、我々119期は皆20代になり、学生とはいえずしつ社会人になるために大人の階段を上がり始めたことでしょうか。学問がより専門化し、進路によって



250余名が集まった成人式同期会
(アートホテル小倉ニュータガワ 2023年1月6日)

編集後記

どの恐怖心はなく、少しずつ元の日常が戻ってきました。しかし、コロナ禍前から失ったものの、変わったことも少なくありません。今の世の中、何が正しいのか、どの情報を信頼すべきか見

野球好きな私にとって、今年の夏は一層熱いものでした。東筑野球部が、ノースードから勝ち上がり、強豪校を次々と倒し、何と県大会の決勝戦に勝ち進んだのです。惜しくも惜敗し「甲子園行き」はなりませんでしたが、ベストを尽くす部員の姿勢、マナーや礼儀正しさにも心を打たれました。現役とOBが一体となつて応援する光景は今でも強く目に焼き付いています。進学校でありながら、「文武両道」を地で行く東筑のよさを強く感じた次第です。

ところで、夏の高校野球大会は慶應高校が優勝しましたが、甲子園の応援で勝利の度に斉唱されていた「慶應義塾熱歌」は、わが東筑高校校歌の作曲者でもある信時 潔氏の作曲です。ここでも東筑とのつながりがあることがわかり、嬉しくなりました。

先日、折尾駅構内に「東筑ポर्ट部個人全国優勝」等の横断幕がかけられており感激しました。東筑高校は「文武両道」が今でも大切にされ、どの部活にも力が入れられ、実績を上げています。このことは、今回の会報誌面からもわかります。時を越えて、これからも後輩達にエールを送り続けていきたいものです。

さて、本年5月から、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しました。それに伴い、6月の東筑会同窓生交流会では、4年ぶりの飲食を伴う交流が実施されました。約500名の同窓が集まりましたが、やはり対面での開催はよいものでした。会場は大きな盛り上がりを見せていました。今年は、「一会おう、出会

極める力が必要不可欠となりました。これからの社会を引っ張る身として今一度自覚を持ち119期一同がそれぞれの「進むべき道」を目指していきましょう。

(幹事 濱口 樹 記)

おう、東筑会2023」というテーマのもと、当番期92期の皆さんが力を合わせて運営していただきました。本当にお疲れ様でした。

おかげさまで、東筑会報第44号(第1号は昭和54年)を発刊することができました。会報作成にあたり、多くの投稿をいただきました。関係の皆様方には、心から感謝を申し上げます。

同期便りへの投稿は、39期(百寿)から119期までの若い世代まで幅広く、東筑の長い歴史と伝統を感じます。とりわけ、39期刀根博愛先輩からは、毎年東筑への熱いメッセージをいただいています。

最後になりましたが、コロナ感染症はまだ終息は見通せません。何事も健康第一ですので、どうか元氣にお過ごしください。

会報委員長 青野元昭(70期)

これからの東筑会の情報はウェブサイトでチェック!!



- ・必要な情報はプリントアウトで即保管。
- ・懐かしい校歌や一本松や正門を掲載。
- ・場所もスグに確認できる、お問合わせアクセス。
- ・同窓会期リンク集を掲載。

www.tochikukai.jp

新住所を事務局へご連絡ください

☆住居表示に変更・改姓・転居された方

- *個人情報保護の観点から会員個人情報は適切に管理し、正確性・安全性の確保に努めます。

事務局 Tel 093-603-6815 Fax 093-603-6820
E-mail tochiku_k@ybb.ne.jp (担当 栗原)



決勝戦終了後、応援席への選手挨拶と
拍手喝采のスタンド風景(撮影:下川聖司(81期))